

令和8年度 国語科「 論理国語 」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・3年・1～7組 国際人文科・3年・8組
教科書	高等学校 論理国語（第一学習社）	副教材等	国語便覧（浜島書店） 力をつける文学読解Plus(数研出版)

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。	評論	自他の「間あい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。</li> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</li> <li>・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。</li> <li>・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
5	具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。	評論	「私」中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。	評論	日本人の「自然」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
6	筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。	評論	中間考査 手の変幻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『「欠落」や『無』が重要な役割を果たしている芸術作品』について、調査したことをまとめたり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
	物語に描かれた人間と動物との関わりについて、筆者の主張とそれを支える根拠の關係に着目して理解する。	評論	越境する動物がもたらす贈り物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>・『「異類婚姻譚」で描かれる『悲劇』』について、調査したことをまとめたり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
7	推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。	評論	推論とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。</li> <li>・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。</li> </ul>	
			期末考査		
9	推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。	評論	帰納法のワナ—— 一般化に対する疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。</li> <li>・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。</li> <li>・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告
	アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。	評論	働かないアリに意義がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
10	AI（人工知能）の発展がもたらす社会と法の関係の変化を把握し、今日的な問題意識を持つ。	評論	AI時代の社会と法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの発展がもたらす社会と法の関係の変化について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
			中間考査		

11	動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。	評論	なぜ多様性が必要か	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。</li> <li>「生物多様性が必要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	生体認証技術の持つ課題を文脈から把握し、それが現代社会に投げかける意味について考えを深める。	評論	生体認証技術の発展と未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体認証技術の持つ課題について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
12	情報の分析に基づく論理展開と対比構造を把握し、将来の社会のあり方を構想する広い視野を培う。	評論	コミュニティ空間としての都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
1	一般の開化と日本の開化との違いを整理しながら筆者の主張を捉え、自分に照らして考えを深める。	評論	現代日本の開化	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	評論	「第二の身体」としてのメディアと技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身近なメディアがどのような「第二の身体」として機能しているかを考える。</li> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> </ul>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	評論	対話の意味	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。</li> <li>関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。</li> </ul>	

### 3 評価の観点

知識・技能	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	<b>【話す・聞く能力】</b> 発言と傾聴を率先して行う。文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現の仕方等について自分の考えを話せる。 <b>【書く能力】</b> 文体や修辭などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲の技術を身につけている。自分の意見や感想を文章にする。 <b>【読む能力】</b> 黙読・音読をしっかりと行う。精読を心掛け、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。
主体的に学習に取り組む態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。授業に必要なもの（教科書・ノート・便覧）は必ず持参し、授業に取り組む。

### 4 評価の方法

「知識技能」、「思考判断表現」、「主体的に取り組む態度」の観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

論理国語は全ての教科の基本となる科目です。課題や作品に積極的かつ主体的に取り組んで感性を磨いてください。

令和8年度 国語科「古典探究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 選択者
教科書	精選 古典探究 古文編 精選 古典探究 漢文編 (三省堂)	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 完全マスター古典文法(第一学習社) イラストとシーンでおぼえるLOOK @古文単語337 (京都書房)

1 学習の到達目標

- ・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深める。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	主な説話作品について、文学的な基礎知識を整理し、説話というジャンルの特性について考える。	小野篁、広才のこと	・話の展開や登場人物の心情の変化に気をつけながら説話を 読み、その面白さを味わう。 ・現代語訳して、機知の面白さを味わう。	・小野篁が嵯峨天皇に「え申し候はじ」と言った理由を説明する。 ・「帝ほほ笑ませ給ひて、事なくてやみにけり」から読み取れる嵯峨天皇の心情を説明する。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
5	・作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。	徒然草 「花は盛りに」	・古文を正しく音読し、冒頭文の暗唱をする。 ・登場人物の関係を理解し、その心情の考察し、話し合う。	・筆者は、どのような状態の月・花・恋に魅力を感じているか、説明する。 ・情趣を味わう態度として、筆者はどのような態度を肯定し、どのような態度を否定しているか、まとめる。 ・『玉勝間』「兼好法師が詞のあげつらひ」を読む。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
中間考査					
6	古典の作品や文章の種類とその特徴について進んで理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する。	方丈記 「安元の大火」	文章の構成や展開、表現の特色について評価し、学習課題にそって作品の特徴について話し合う。	・『「安元の大火」参考地図」を参考にして、火がどのように燃え広がったか、確認する。 ・筆者は、火事の中で人々がどのような状態であったと考えているか、まとめる。 ・「すぐれてあじきなくぞ侍る」に表れている筆者の考えについて話し合う。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
7	作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。	竹取物語 「かぐや姫の昇天」	・登場人物の行動と心情を読み取る。 ・物語中の和歌の役割について理解する。 ・物語に描かれた人間のありようを考える。	・かぐや姫が人間世界に送られた事情と、天上世界に戻る理由を、それぞれまとめる。 ・天の羽衣を着ることによって、かぐや姫にどのような変化が起こったか、説明する。 ・天人と人間にはどのような違いがあるか、話し合う。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
期末考査					
9	・作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。	枕草子 「すさまじきもの」	・随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ・用いられた言葉に着目し、内容理解を深める。	・第一段落に示された物事は、なぜ「すさまじきもの」なのかそれぞれ説明する。 ・筆者は、第二段落でどのような「文」を「すさまじきもの」だと述べているか、説明する。 ・第三段落の「除目に司得ぬ人の家」に集まってきた人々の行動と心情の変化について、時間の推移にしたがってまとめる。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
10	作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。	源氏物語 「光源氏の誕生」	・古文を正しく音読し、冒頭文の暗唱をする。 ・古語の意味、文語文法(助動詞)、敬語表現を理解し現代語訳する。 ・登場人物の関係を理解し、その心情の考察し、話し合う。	・帝の桐壺更衣への寵愛は、次の人々にどのように受け止められていったか整理する。 ・帝は「玉の男御子」をどのように思っていたか、「一の御子」への思いと比較して説明する。印象に残った歌を選び、そこに描かれた情景や思いを説明する。	・記述の確認 ・行動観察 ・定期考査
中間考査					

11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古女流日記の特徴を理解する。</li> <li>・平安時代の生活様式、結婚等について理解する。</li> <li>・古語の意味、和歌の用法等を理解し現代語訳する。</li> </ul>	更級日記 「あこがれ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。</li> <li>・日記の特徴について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いかばかりかはあやしかりけむを」には作者のどのような思いがこめられているか話し合う。</li> <li>・作者の物語へのあこがれは、どのように描かれているか、行動とともにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。</li> </ul>	平家物語 「能登殿の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>『平家物語』が、時代やジャンルを超えて受容されてきた意義について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教経の戦いぶりを、順を追って整理する。</li> <li>・「竜田川の紅葉葉を嵐の吹き散らしたるがごとし。汀に寄する白波も、薄紅にぞなりにける」はどのような状況を表現しているか説明する。</li> <li>・知盛が「見るべきほどのことは見つ。今が自害せん」と言った時の心情を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色についての理解や、書き手の考えや目的、意図を捉える力を養う。</li> </ul>	和歌十六首	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に出して読み、和歌・連歌・俳諧のリズムを味わう。</li> <li>・和歌・連歌・俳諧に表現された情景や心情を読み取る。</li> <li>・創作活動をとし、古典の韻文に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの歌、句切れやリズムに注意して朗読する。</li> <li>・それぞれの歌には、どのような景物や心情が詠まれているか説明する。</li> <li>・十六首の中から一首を選び、鑑賞文を書く。</li> <li>・『古今和歌集仮名序』『やまと歌は』を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認</li> <li>・行動観察</li> <li>・定期査査</li> </ul>
2		古事記		<ul style="list-style-type: none"> <li>・倭建は、どこでどのような行動をとっているか整理する。</li> </ul>	
3		倭建の東征		<ul style="list-style-type: none"> <li>・能須野で歌われた四種の歌謡に表れた心情を説明する。</li> </ul>	
期末査査					

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</li> </ul>
思考・判断・表現	<b>【読む能力】</b> 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について進んで理解を深め、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって古典を学ぶ意味について話し合おうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>まずは、日々の授業を大切に、積極的に参加して欲しいと思います。2年次の選択によっては、1年ぶりの「古典」ということで、不安を感じている人もいるかもしれません。しかし、授業での解説をしっかりと理解し、課題に丁寧に取り組めば、何の心配もありません。また、授業をきっかけに古典作品への興味関心を高め、積極的に書物に親しんで欲しいと思います。</p>
--

令和8年度 国語科「国語研究」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科3年1268組 (選択者)
教科書	精選 古典探究 古文編・漢文編 (三省堂)	副教材等	イラストとシーンでおぼえるL O O K @古文単語337 (京都書房) 完全マスター 古典文法 (第一学習社)

1 学習の到達目標

2年次までの授業で培ってきた基礎力に基づいて、さらに内容や知識等を深め、作品や言葉の総合的な理解と表現力の向上を図る。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4          5	・物語に描かれたできごとの背景を理解し、登場人物の行動と心情を読み取る力	物語	「大鏡」 三舟の才	・古文の基礎事項（語句の意味・文法・常識）を確認しながら、内容を捉え、話の構成や展開を読み取る。 ・敬語の用法を理解しながら、物語を組み立てる人間関係の一端を整理し、登場人物の心情を的確に読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
6          7	・当時の宮中の様子や筆者の立場を理解する力 ・随筆に表現された筆者の価値観や心情を読み取る力	随筆	「枕草子」 二月つごもりごろに          期末考査	・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自らの感性を磨く。 ・宮廷生活の機微に触れるとともに、当時の貴族の生活や教養についての認識を深める。 ・敬語の用法を確認し、話の構成や展開、登場人物の心情を的確に読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
9          10	・作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る力 ・表現の工夫を理解し、自分の言葉を豊かにする力	小話	不死之薬	・「中射之士」の「王」に対する弁明の内容を、二点に分けて説明する。・「中射之士」が言った「可食乎。」の「可」と「謁者」が言った「可。」の「可」との違いをふまえて、この話のおもしろさについて話し合う。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

11	・和歌の解釈や漢詩の引用についての考察をとおして、登場人物の心情を的確に読み取る力	物語	「源氏物語」 物の怪の出現	・六条御息所は自分の中にどのような変化を感じて悩んでいるかまとめる。 ・「大将に聞こゆべきことあり」とは、誰がどのようなことを伝えたかったか話し合う。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
12			期末考査		
1	・漢文の史伝を読み登場人物の心情を読み取る力	史伝	史記 「四面楚歌」	・漢文訓読の基礎や句形を確認しながら、登場人物の心情を読み取る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出
2					
3					

### 3 評価の観点

知識・技能	伝統的な言語文化及び古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。
思考・判断・表現	【読む能力】 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
主体的に学習に取り組む態度	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や感心を深めようとしている。

### 4 評価の方法

3観点から評価規準に従い、定期考査・授業内テスト等の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢等を鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「国語研究」では古典に特化して、問題演習も行いながら広く、さまざまな作品を読んでいます。まずは読解に必要な基礎事項（語句の意味・文法・古典常識など）を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

令和8年度 地理歴史科「地理探究」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第I部 第1章 自然環境	① 地球環境と人間 ② 地形 ③ 気候 ④ 日本の自然環境 ⑤ 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。</li> <li>・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了後の振り返り</li> <li>・授業プリントや課題など提出状況</li> <li>・考査の成績</li> </ul>
	5				
	6	第2章 資源と産業	① 農林水産業 ② 食料問題 ③ エネルギー・鉱産資源 ④ 資源・エネルギー問題 ⑤ 工業 ⑥ 第3次産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。</li> <li>・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了後の振り返り</li> <li>・授業プリントや課題など提出状況</li> <li>・考査の成績</li> </ul>
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 交通・通信と 観光、貿易	① 交通・通信 ② 観光 ③ 貿易と経済圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。</li> <li>・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了後の振り返り</li> <li>・授業プリントや課題など提出状況</li> <li>・考査の成績</li> </ul>
	10				
			中間考査		

第2学期	11	第5章 生活文化、 民族・宗教	① 衣食住 ② 民族・宗教と民族問題 ③ 国家の領域と領土問題	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題など提出状況 ・考査の成績
	12	第Ⅱ部 第1章 現代世界の 地域区分	① 地域区分  期末考査	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解する。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。 ・世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	
学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2章 現代世界の 諸地域	① 地域の考察方法 ① 中国 ② 韓国 ③ ASEAN諸国 ④ インド ⑤ 西アジアと中央アジア ⑥ 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ⑦ EU諸国 ⑧ ロシア ⑨ アメリカ合衆国 ⑩ ラテンアメリカ ⑪ オーストラリアとニュージーランド	・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。またいくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・授業終了後の振り返り ・授業プリントや課題など提出状況 ・考査の成績
		第Ⅲ部 第1章 持続可能な 国土像の探究	① 将来の国土の在り方 ② 持続可能な日本の 国土像の探究  学年末考査	・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。	

### 3 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「地(ち)の理(ことわり)」の通り、地理学は自分の身の周りで何が起きているのか、その原因は何かを突き詰めていく学問です。授業で学習した内容とマスメディアやインターネットなどから得られる情報をリンクさせ、現代世界の様々な出来事の経糸(たていと)と緯糸(よこいと)を見出して特性を知るとともに様々な諸課題の解決方法を一切妥協せずに探っていきましょう。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）	副教材等	図説 日本史通覧（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼのの展望	1文化の始まり 2農耕社会の成立 ①古代社会と海外との交流 ②木簡から古代国家を探る	・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の形成を考察する。 ・遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	授業観察 提出課題 定期考査
		第2章 古墳とヤマト政権	1古墳文化の展開 2飛鳥の朝廷	・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。 ・律令にもとづく国内統治体制について理解する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	
	5	第3章 律令国家の形成	1律令国家への道 2平城京の時代 3律令国家の文化 4律令国家の変容	・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 ・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	授業観察 提出課題 定期考査
7	第4章 貴族政治の展開	1摂関政治 2国風文化 3地方政治の展開と武士 中間考査			
第1学期	6	第II部 中世 第5章 院政と武士の躍進	1院政の始まり 2院政と平氏政権 絵画から中世社会を探る	・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ・資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。 ・鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。	授業観察 提出課題 定期考査
		第6章 武家政権の成立	1鎌倉幕府の成立 2武士の社会 3モンゴル襲来と幕府の衰退 4鎌倉文化	・承久の乱にもなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	
	7	第7章 武家社会の成長	1室町幕府の成立 2幕府の衰退と庶民の台頭 3室町文化 4戦国大名の登場 期末考査	・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	
第2学期	9	第III部 近世 第8章 近世の幕開け	1織豊政権 2桃山文化 生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ・生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。	授業観察 提出課題 定期考査
		第9章 幕藩体制の成立と展開	1幕藩体制の成立 2幕藩社会の構造 3幕政の安定 4経済の発展 5元禄文化	・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ・諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。 ・全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。 ・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 ・儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	
第2学期	10				

第2学期			中間考査		
	11	第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 歴史資料と近代・現代の展望 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 ①五箇条の誓文と国是 ②貿易の変遷からみる日本の近代・現代 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワンントン体制	・幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ・江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ・政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 ・第一次世界大戦前後の政治的動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ・ワンントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。	授業観察 提出課題 定期考査
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	・近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。 ・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	授業観察 提出課題 定期考査
	2	第17章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。 ・冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	
		第18章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	・消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。	
	3	現代日本の課題の探究	様々な災害と日本	・2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	歴史の展開に関わる主な事柄について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、様々な資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現	歴史の展開に関わる主な事柄の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	歴史の展開に関わる主な事柄について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・理解, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い, 総合的に評価する。□

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

過去のできごとをとりあげるのではなく、それが現代までどのような影響を与えたのかも触れていきます。多種多様なアプローチから、歴史の展開を見ていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも積極的に授業以外の場での活動等も試みて下さい。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	世界史探究『詳説世界史』（山川出版社）	副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

- 
- 
- 

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	世界史へのまなざし1 第1部を学ぶ前に	世界史へのまなざし1 第1部を学ぶ前に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の誕生を地球46億年の歴史のなか位置づけて考察する。</li> <li>・人類の進化の過程の概要を理解する。</li> <li>・西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする。</li> <li>・オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。</li> <li>・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。</li> <li>・8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。</li> <li>・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
		第1章 文明の成立と古代文明の特質	1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 5 南北アメリカ文明		
	5	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 中間考査		
	6	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 キリシヤ人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築くことができた背景や要因を理解している。</li> <li>・バルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。</li> <li>・ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・キリスト教の成立の経緯を理解している。</li> <li>・イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。</li> <li>・西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。</li> <li>・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。</li> <li>・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。</li> <li>・ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 第II部を学ぶ前に			
7	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化 期末考査			
第2学期	9	第9章 大交易・大交流の時代	2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>・17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。</li> <li>・近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆			
10	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想			

第2学期			中間考査		
	11	第12章 産業革命と環大西洋革命	1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	授業観察 提出課題 定期考査
12	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	・ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動が進化した背景を理解する。 ・アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	授業観察 提出課題 定期考査
	2	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。	
	3	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 ・ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・理解，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い，総合的に評価する。□

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

世界史を遠い国で起きた昔の出来事ととらえるのではなく、現在私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。そして、「今」世界で起きていることは目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史がつながるはずです。

# 令和8年度 地理歴史科「歴史研究」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	日本史探究『詳説日本史』(山川出版社) 世界史探究『詳説世界史』(山川出版社)	副教材等	『図説日本史通覧』帝国書院、『最新世界史図説 タペストリー』帝国書院

## 1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	お茶からみる日本と世界の歴史 史料を取り扱ってみよう 歴史叙述とは何か考えてみよう	・私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。
		2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	①アジアのなかの江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結びつく東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	・江戸時代の日本と世界国々との結び付き ・18世紀清をとりまく国際関係 ・17～18世紀のアジア・アメリカにおける貿易の展開	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	5	2章 欧米諸国における近代化	①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 中間考査	・イギリス革命・アメリカ独立戦争後の政治体制 ・フランス革命による政治・社会の変化のあり方 ・近代社会の形成における産業革命の役割	
		3章 近代化の進展と国民国家形成	①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化	・1848年後のヨーロッパ社会の変化 ・イタリア・ドイツ・ロシアの近代国家形成の展開 ・アメリカ合衆国の国内統一と工業化	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	7	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡	・19世紀のイスラーム諸国とヨーロッパ諸国の関係 ・ヨーロッパ植民地によるアジアでの植民地形成 ・幕末期の日本と欧米諸国との関係	
		5章 近代化がすすむ日本と東アジア	①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 期末考査	・明治維新期の政治・社会の変化 ・近代化の進展による日本・清・朝鮮それぞれの国際関係の変化 ・日露戦争が国際社会に与えた影響	
第2学期	9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応	①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結	・ドイツ・ロシアの対外政策の変更とその影響 ・第一次世界大戦における国や人の関わり ・ロシアにおける社会主義政権の誕生過程	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員や非戦闘員・植民地の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	10	2章 国際協調と大衆社会の広がり	①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 中間考査	・第一次世界大戦後の国際秩序の形成 ・欧米における大衆社のあり方 ・日本の大衆社会の形成	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	3章 近代化の進展と国民国家形成	①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満洲事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍	・世界恐慌の国際協調体制に与えた影響 ・日本の満洲進出とその後の日中関係 ・第二次世界大戦の進展	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	12	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 期末考査	・第二次世界大戦後の国際体制の形成 ・米ソ対立とヨーロッパの東西分裂 ・占領下の日本と独立回復の過程したのだろうか。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本	①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題	・米ソの緊張と緩和が国際社会に与えた影響 ・日本の高度経済成長を支えた国内外の要因 ・冷戦激化とアジア・アフリカの脱植民地化の展開	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	2	2章 多極化する世界	①揺らぐアメリカと先進各国の変化 ②「経済大国」日本の模索 ③経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ④イスラーム復興と冷戦への影響	・1960～70年代のアメリカが抱えた問題と国際社会 ・1970～80年代の日本が抱えた国内外の問題 ・イラン＝イスラーム革命が世界に与えた影響	
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	①冷戦の終結と変わる世界構造 ②冷戦の終結が与えた世界への影響 ③超大国アメリカと中東情勢 ④国際環境の変化と日本 ⑤グローバル化による国際社会の変容	・冷戦体制の終結と世界構造の変化 ・アメリカと中東情勢の関係 ・グローバル化の進展による国際社会の変化	

### 3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

歴史を単に過去のできごととしてとりあげるのではなく、多種多様なアプローチをし、それが現代までどのような影響を与えたのかにも触れていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも、授業以外の場で歴史や社会の問題にふれることも試みて下さい。

## 令和8年度 公民「倫理」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次1・2・4・6・7・8組
教科書	高等学校 倫理（第一学習社）	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1編 第1章 人間の心と自己形成 第2章 人間の存在や価値と宗教	1 青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考え方をもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。</li> <li>・古代ギリシアの思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・キリスト教をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・イスラームをもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
	5		1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム  中間考査		
	6	第2章 人間の存在や価値と宗教	4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・儒教などの中国の思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。</li> <li>・人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。</li> <li>・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
7	第3章 人間のあり方と社会	1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観  期末考査			
第2学期	9	第3章 人間のあり方と社会  第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会契約の思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。</li> <li>・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
10	1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加  中間考査				

第2学期	11	第5章 国際社会に 生きる日本人 としての自覚	1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめ と庶民思想 4 西洋思想との 出会い	・日本人の人間観，自然観，宗教観など と，古来の日本人の心情と考え方との関係 を理解する。 ・日本人の人間観，自然観，宗教観など と，外来思想の受容との関係を理解する。 ・日本人の人間観，自然観，宗教観など と，国学や江戸時代の庶民の思想との関係 を理解する。 ・日本人の人間観，自然観，宗教観など と，西洋思想の受容との関係を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出
	12	第2編 第1章 自然や科学技 術にかかわる 諸課題と倫理	1 生命の問題と 倫理課題  期末考査	・生命との関わりにおいて，人間とし てのあり方生き方についての見方・考 え方を働かせ，他者と対話しながら， 現代の諸課題を探究する。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2編 第1章 自然や科学技 術にかかわる 諸課題と倫理	2 地球環境の問題と 倫理的課題 3 科学技術の進展と 倫理的課題	・地球環境との関わりにおいて，人間 としてのあり方生き方についての見 方・考え方を働かせ，他者と対話しな がら，現代の諸課題を探究する。 ・科学技術との関わりにおいて，人間 としてのあり方生き方についての見 方・考え方を働かせ，他者と対話しな がら，現代の諸課題を探究する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出
		第2章 社会と文化に かかわる諸課 題と倫理	1 福祉の向上と 倫理的課題 2 文化と宗教の影響 と倫理的課題 3 国際平和と 倫理的課題  学年末考査	・福祉について倫理的課題を見だし，人間 としてのあり方生き方についての見方・考 え方を働かせ，他者と対話しながら，現代の諸課題を探究する。 ・文化と宗教について倫理的課題を見だし，人 間としてのあり方生き方についての見方・考 え方を働かせ，他者と対話しながら，現代の諸課題を 探究する。 ・国際平和について倫理的課題を見だし，人間 としてのあり方生き方についての見方・考 え方を働かせ，他者と対話しながら，現代の諸課題を 探究する。	

### 3 評価の観点

知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するた めの手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料か ら，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付け るようになる。
思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより 深く思 索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念 や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話した りする力を養う。
主体的に学習に 取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究した り，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うと ともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社 会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

倫理という科目は、「世界の見方」を学ぶ科目です。私たちは一人一人が自分の目で物事を見ま  
す。しかし、自分の目以外でみることはできません。倫理を学ぶ意味はここにあります。自分以外  
の目で見ることにはできなくとも、それを想像すること、伝えること、思いやることができます。そ  
れを学ぶのが倫理という科目です。考えることが多い科目ですが、ここで考えたことで、世界を  
もっと遠くまで見渡せるようになってほしいと思います。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・第三学年・全クラス
教科書	実教出版 最新政治・経済	副教材等	

1 学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。学習において適切な課題を設定し、その課題を追究したり解決に向けて構想したりするための枠組みとなる多様な視点を身につけさせ、課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を促すこと。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第2編1章1 経済活動の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と経済活動</li> <li>希少性と選択</li> <li>効率性と公平性</li> <li>トレードオフ</li> <li>資本主義経済の成立と変容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動とはどのように営まれているのだろうか。限りある資金や資源はどのように選択され、配分されていくのだろうか。</li> <li>・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。</li> <li>○資本主義と社会主義はどのように変容しているのか。市場規模の広がりをもとに市場経済の展望と課題は何か。</li> <li>・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。</li> <li>○3つの経済主体間の経済循環はどのようなものか。市場の効率性と、その限界はどのような点にあるのだろうか。</li> <li>・経済主体を理解する。</li> <li>・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。</li> <li>・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査
	5	第2編1章2 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会主義経済の形成と変容</li> <li>・グローバリゼーションの進展</li> <li>・経済主体と経済循環</li> <li>・市場の働き</li> <li>・市場と競争</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○株式会社のしくみにはどのようなものがあるのか。企業がなすべき社会的責任とは何だろうか。</li> <li>・企業の役割と社会的責任について考える。</li> </ul>	
	6	第2編1章3 経済主体と市場の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の種類</li> <li>・株式会社</li> <li>・企業の変容</li> <li>・企業の社会的責任</li> <li>・GDP/GNI</li> <li>・経済成長と景気変動</li> <li>・フローとストック</li> <li>・豊かさやGDP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動の大きさをはかる指標には何があるのか。それぞれの指標は、どう関係しているのだろうか。</li> <li>・NIから三面等価の原則について考える。</li> <li>○経済成長や景気変動の要因とは何か。経済活動の見方であるフローとストックの違いとは何だろうか。</li> <li>・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。</li> <li>○GDPの意味を理解し、持続可能な経済活動に向けた考えを発表する。</li> <li>○身近な物価変動をあげ、どのように生活に影響を及ぼしたか発表する。</li> </ul>	
7	第2編1章4 企業の役割 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融とは</li> <li>・銀行と信用創造</li> <li>・証券会社と保険会社</li> <li>・間接金融と直接金融</li> <li>・金融政策</li> <li>・財政と財政政策</li> <li>・歳入と歳出</li> <li>・租税の種類</li> <li>・財政改革の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済活動における資金の流れとはどのようなものか。直接金融と間接金融の違いは何だろうか。</li> <li>・金融を通じた経済活動の活性化について考える。</li> <li>○日本銀行が実施する金融政策の目的は何か。どのような方法で通貨供給量を調整しているのだろうか。</li> <li>・中央銀行の役割について理解する。</li> <li>○経済活動における財政の役割は何か。歳入の柱である租税は、どのようなしくみになっているのだろうか。</li> <li>・財政の持つ様々な役割について考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査	
7	第2編1章5 国民所得	中間考査	期末考査		
7	第2編1章6 経済成長と国民の福祉	小テスト	期末考査		
7	第2編1章7 金融の役割	小テスト	期末考査		
7	第2編1章8 日本銀行の役割	小テスト	期末考査		
7	第2編1章9 財政の役割と租税	小テスト	期末考査		
7	第2編1章10 日本の財政の課題なるほどQ&A	小テスト	期末考査		
7	インフレとデフレの生活影響	小テスト	期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第2編2章1 日本経済の成長と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政危機と財政構造改革</li> <li>・日本経済の復興</li> <li>・安定成長からバブル経済へ</li> <li>・バブル崩壊と長期不況</li> <li>・構造改革と実感なき好景気</li> <li>・中小企業の現状</li> <li>・日本の農業</li> <li>・消費者問題</li> <li>・経済成長と公害</li> <li>・国際政治の成立</li> <li>・国際法</li> <li>・領土問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税者としての立場から租税のあり方について考える。</li> <li>○税制改革とは何か。財政の硬直化が生じる原因とは何か。財政構造改革とはどのような改革なのだろうか。</li> <li>・日本の財政の現状を理解し、これからの財政のあり方を考える。</li> <li>○日本経済は戦後復興をどのようにはたしたのか。1990年代以降の長期不況に対し、どのような対策がとられたのだろうか。</li> <li>・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。</li> <li>・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。</li> </ul>	学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査
	10	第2部 現代の国際政治・国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法</li> <li>・領土問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の中小企業の現状と課題は何か。国際化の影響を受ける農業には、どのような農政が必要なのだろうか。</li> <li>・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。</li> <li>○国際社会を構成する要素は何か。国際法とは何か。領土問題の発生にはどのような原因があるのだろうか。</li> <li>・国内政治や国内法との比較で考える。</li> </ul>	
第2学期			中間考査		

	11	第1編1章3 国際連合と国際協力 第1編1章4 こんにちの国際政治 第1編1章5 人種・民族問題 第2編2章1 第二次世界大戦後の国際 経済 第2編2章2 国際経済の動向 第2編2章3 新興国の台頭 第2編2章4 経済のグローバル化とICT でかわる世界経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争の違法化</li> <li>・国際的な人権保証</li> <li>・国際性の変化</li> <li>・国際連盟の設立</li> <li>・冷戦の終結</li> <li>・人種問題の展開</li> <li>・恐怖の均衡</li> <li>・核廃絶をめざして</li> <li>・IMF・GATT体制</li> <li>・地域的経済統合</li> <li>・中国とインド</li> <li>・グローバル化とICT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。</li> <li>・冷戦構造の概要について理解している。</li> <li>・人種問題について、具体例（公民権運動、アパルトヘイト）を踏まえながら理解している。</li> <li>・核抑止論の考え方について理解している。また、安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。</li> <li>・戦後の主権回復と国際社会への復帰について、その経過を理解している。</li> <li>・IMFとGATTに代表される国際経済体制について、その概要を理解している。</li> <li>・FTAやEPAがどのようなものであるのかを理解している。</li> <li>・新興国の中でも、とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。</li> <li>・グローバル化によって人の往来が活発になり、そのなかで共生が課題となっていることを理解している。</li> </ul>	学習態度、提出物、 発表作品、出欠状 況、小テスト、定期 考査
	12		小テスト  期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3 学期	1	第2編2章5 発展途上国の課 題と展望 第2編2章6 地球環境問題、 資源エネルギー 問題  ナビ これだけは知っ ておこう年金制 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノカルチャー経済</li> <li>・UNCTAD</li> <li>・絶対的貧困</li> <li>・大量消費の理由</li> <li>・パリ協定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金制度を知り、将来の資産を増やそう</li> </ul> レポート提出	<p>○南北問題の解決に向け、発展途上国はどのように対応してきたのか。南南問題とはどのようなものだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。</li> </ul> <p>○化石燃料はなぜ大量消費されるのか。大量消費にともなう課題の解決に向け、どのような取り組みが進んでいるのだろうか。</p> <p>○株式投資を行い、資産運用を考えよう。</p> <p>1年間の政治経済に興味を持った事象に関してテーマを挙げ論じる。</p>	学習態度、提出物、 発表作品、出欠状 況、小テスト、定期 考査

### 3 評価の観点

知識・技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質・特質および動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見出し、その本質的な特質、望ましい解決の在り方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会生活の実現に向けて、参加・協力する態度を身につけ、人間としての在り方・生き方についての自覚を深めようとする。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に判断し評価する。 評価材料としては、学習態度、提出物、発表作品、出欠状況、小テスト、定期考査とする。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

政治経済という科目は、基本的な知識・原理・概念を覚えるだけでなく、一人の国民、生活者の立場から、それらが生じた背景や改善のあり方について考えることが、本当の理解や自分の考えを作り上げることにつながります。また、政治・経済の生きた教材は、新聞やニュースなど、身の回りにたくさんあります。日頃から積極的に新聞を読み、ニュースを見て、世の中で起きていることに興味・関心を持つことが重要です。
--

令和8年度 数学科 「数学Ⅲ」 シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	普通科 3年1組～7組
教科書	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)	副教材等	4プロセス 数学Ⅲ(数研出版)

1 学習の到達目標

極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	1章 関数	1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント
	5	2章 極限 1節 数列の極限	1. 数列の極限 2. 無限等比級数 3. 無限級数	数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	小テスト など
		2節 関数の極限	4. 関数の極限(1) 5. 関数の極限(2) 6. 三角関数と極限 7. 関数の連続性(2)	数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	
			中間考査		
	6	3章 微分法 1節 導関数	1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算	微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	
	7	2節 いろいろな関数の導関数	3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 曲線の方程式と導関数	導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それをを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	4章 微分法の応用 1節 導関数の応用	1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ	導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント
	10	2節 いろいろな応用	5. 方程式、不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式	関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。	小テスト など
			中間考査		

	1 1	5章 積分法とその応用 1節 不定積分	1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分	様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。	
	1 2	2節 定積分	4. 定積分とその基本性質 5. 置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題 期末考査	様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1 2 3	3節 積分法の実用	7. 面積 8. 体積 9. 道のり 10. 曲線の長さ 学年末考査	定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など

### 3 評価の観点

知識・技能	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数(素点)になります。昨年と同様、定期考査の点数を3観点に沿って点数を割り振ります。教科書の問題だけでなく、発展問題・応用例題等幅広くテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. NEXT数学Ⅲ問題集(解答) 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいますので、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりますよ！</p>
---

令和8年度 数学科 「数学B」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年3組
教科書	NEXT 数学B (数研出版)	副教材等	CONNECT 数学B (数研出版)

1 学習の到達目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	1章 数列 1節 等差数列と等比数列	1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	5	2節 いろいろな数列	6. 和の記号 $\Sigma$ 7. 階差数列	和の記号 $\Sigma$ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	
	6 7	3節 漸化式と数学的帰納法	8. いろいろな数列の和 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	
			中間考査 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	2章 統計的な推測 1節 確率分布	1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	10		5. 正規分布		
	11	2節 統計的な推測	6. 母集団と標本 7. 標本平均と分布 8. 推定 9. 仮説検定	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	
	12		期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	3章 数学と社会生活	1. 数学を活用した問題解決	社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知り、積極的に数学を活用する姿勢を培う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2		2. 社会の中にある数学		
	3		3. 変化をとらえる ～移動平均～  4. 変化をとらえる ～回帰分析～  学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）になります。昨年と同様、定期考査の点数を3観点に沿って点数を割り振ります。教科書の問題だけでなく、発展問題・応用例題等幅広くテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。何かあったときの・・・。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. NEXT数学Ⅱ+B問題集（解答） 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいますので、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりましょう！</p>
--

令和8年度 数学科 「数学C」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年1組～7組
教科書	高等学校 数学C(数研出版)	副教材等	4プロセス 数学C(数研出版)

1 学習の到達目標

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	1. ベクトル	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また，ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	5		2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 中間考査		
	6	第2節 ベクトルと平面図形	5. 位置ベクトル		
7	6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示 期末考査				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	第2章 空間のベクトル	1. 空間の点	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え，空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また，それに関連して，座標空間における点や図形について考察できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	10		2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形 中間考査		
	11	第3章 複素数平面	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形		
12	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	1. 放物線	放物線，楕円，双曲線の定義や性質を理解し，それらを図示したり，問題の解決に活用したりできるようにする。また，離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。		
		2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動			

			5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	第2節 媒介変数表示と極座標	7. 曲線の媒介変数表示	曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2		8. 極座標と極方程式		
3	9. コンピュータの利用				
		第5章 数学的な表現の工夫	1. データの表現方法の工夫 2. 行列による表現 3. 離散グラフによる表現 4. 離散グラフと行列の対応	日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフ、離散グラフや行列などを用いて工夫して表現することの意義について理解するとともに、それらを積極的に活用して事象を考察する姿勢を培う。	

### 3 評価の観点

知識・技能	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）になります。昨年と同様、定期考査の点数を3観点に沿って点数を割り振ります。教科書の問題だけでなく、発展問題・応用例題等幅広くテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. 4プロセス数学C問題集（解答） 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいますので、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりますようにしよう！</p>
---

## 令和8年度 数学「数学研究」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年1～7組
教科書	NEXT数学I (数研出版) NEXT数学A (数研出版)	副教材等	数研出版「NEXT 数学シリーズ対応 CONNECT 数学I + A」

### 1 学習の到達目標

数学I、数学Aおよび数学IIにおける学習内容の再確認とさらなる習熟を図り、また、それらを相互に関連付けることにより、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、諸課題の解決に向け、数学の考え方を活用する態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	1 数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の加法・減法・乗法</li> <li>・ 因数分解</li> <li>・ 根号を含む式の計算</li> <li>・ 1次不等式</li> <li>・ 絶対値を含む方程式・不等式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の加法・減法・乗法、因数分解を確認し、因数分解では立方の公式や複2次式についても解説する。</li> <li>・ 平方根や絶対値の計算について確認し、2重根号の簡約、も考察する。</li> <li>・ 1次不等式の解法を確認し、絶対値を含む不等式についても理解する。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
6	3 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関数</li> <li>・ 2次関数</li> </ul> (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフの特徴や平方完成によるグラフのかき方を確認する。平行移動や対称移動についても考え、微分によるグラフのかき方についても触れる。</li> </ul>	
7	2 集合と命題 6 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数の最大・最小</li> <li>・ 2次関数の決定</li> <li>・ 2次方程式</li> <li>・ 2次方程式のグラフとx軸の共有点</li> <li>・ 2次不等式</li> <li>・ 2次不等式の応用</li> <li>・ 集合</li> <li>・ 集合と要素の個数</li> </ul> (期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数の最大値・最小値の求め方、2次関数の決定の方法を確認する。文章問題や未知数を含む最大・最小問題も解説する。</li> <li>・ 2次方程式や2次不等式の解法や放物線との関係を確認する。連立不等式や2次方程式の虚数解についても触れる。</li> <li>・ 数学Iと数学Aで学んだ集合の考えをまとめて確認をする。複雑な包含関係の考察方法なども取り上げる。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
9	2 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命題と条件</li> <li>・ 論証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命題の真偽判定、必要・十分条件、逆・裏・対偶の考え方を理解し、対偶証明法や背理法による証明法を習得する。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
10	4 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直角三角形と三角比</li> <li>・ 三角比の相互関係・三角比と座標</li> <li>・ 三角比の性質</li> <li>・ 正弦定理</li> <li>・ 余弦定理</li> <li>・ 三角形の面積</li> <li>・ 空間図形への応用</li> </ul> (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋭角と鈍角の三角比の定義や性質、相互関係を確認する。三角方程式や不等式についても解説し、数学IIで扱う三角関数についても触れる。</li> <li>・ 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式と活用法を確認する。さらに、三角形の形状決定問題や空間図形への応用などについても解説する。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など

11	6 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数え上げの原則</li> <li>・順列</li> <li>・組合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数の数え上げ方や順列、階乗の計算について確認する。円順列、じゅず順列、重複順列や複合問題についても解説する。</li> <li>・組合せの計算を確認する。また、同じものを含む順列や組分け問題なども考察する。</li> <li>・確率の概念と基本的な求め方や性質を確認する。余事象を含め、順列・組合せを利用した多少複雑な事象についても解説する。</li> <li>・独立試行、反復試行の確率や条件付き確率について確認する。点の移動や原因の確率の問題など、それらを活用した問題も扱う。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象と確率</li> <li>・確率の基本性質</li> <li>・独立な試行の確率</li> <li>・反復試行の確率</li> <li>・条件付き確率</li> </ul> (期末考査)		
12				
1	5 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの整理</li> <li>・データの代表値</li> <li>・データの散らばり</li> <li>・相関</li> <li>・相関係数</li> </ul> (学年末考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・度数分布や代表値、四分位数、分散と標準偏差について確認する。箱ひげ図とヒストグラムの関連などにも触れる。</li> <li>・相関の概念や相関係数を理解し、2変量の相関を調べられるようにする。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など

### 3 評価の観点

知識・技能	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析及び場合の数と確率における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
思考・判断・表現	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析及び場合の数と確率において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理するやり方や推論の方法などの技能を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養おうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>数学研究は、ただ1、2年生の授業をやり直す科目ではありません。数学Iと数学Aをより深く、幅広く学ぶ科目です。ですから、基礎的な問題や計算練習には多くの時間はとりません。それは自主的に学習して、自らできるように努力してもらいます。授業では基礎知識を活用する問題(いわゆる応用問題)を中心に解説します。入試問題も扱いますし、数学IIの内容も活かしていきます。しかし、みなさんの前向きに取り組む姿勢とがんばる気持ちがあれば、十分にできるようになりますし、達成感も味わえます。<u>あきらめずに向き合い続ける</u>ことが何より大切! 1年間を通じて、日々努力を積み重ねてくれることを期待しています。</p>
---

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	物理（東京書籍）	副教材等	新課程版 スタディノート物理（第一学習社）

1 学習の到達目標

- ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動	1節 平面内の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面内を運動する物体の運動について理解し、運動を表す変位、速度、加速度を理解する。</li> <li>・斜方投射された物体の運動について理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析
			2節 放物運動		
	5	2章 剛体のつり合い	1節 剛体と力のモーメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剛体の回転運動と力のモーメントについて理解し、剛体のつり合いの条件と重心について説明する。</li> </ul>	行動観察 レポート分析
			3章 運動量		
		中間考査			
	6	4章 円運動	1節 円運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。</li> <li>・（実験）円運動の周期</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析
			2節 慣性力		
	7	5章 単振動	1節 単振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛直ばね振り子、水平ばね振り子の周期がどのように表されるか論理的な導出をふまえて理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析
			2節 さまざまな単振動		
		3節 単振動のエネルギー			
6章 万有引力		1節 惑星の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万有引力による物体の運動について、その規則性を理解する。</li> </ul>	行動観察 レポート分析	
		2節 万有引力			
7章 気体分子の運動	1節 気体の性質 2節 気体分子の運動と状態方程式 3節 熱力学第1法則と気体の状態変化 4節 熱力学第2法則と熱機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイル・シャルルの法則を理解する。</li> <li>・気体の熱力学的現象をミクロな視点で解析する。</li> <li>・熱力学的第一法則について理解する。</li> <li>・熱機関と熱効率について理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析		
期末考査					
第2学期	9	2編 波 1章 波の伝わり方	1節 波の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波の伝わり方とその表し方について理解する。</li> <li>・波の干渉と回折について理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析
			2節 波の伝わり方		
	10	2章 音	1節 音の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の干渉と回折について理解する。</li> <li>・音のドップラー効果について理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析
			2節 ドップラー効果		
10	3章 光	1節 光の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の反射、屈折、分散、偏光、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解する。</li> <li>・光の回折と干渉について理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト レポート分析	
		2節 光の回折と干渉			
中間考査					

第2学期	11	3編 電気と磁気 1章 電場と電位	1節 静電気 2節 電場（電界） 3節 電位 4節 電場の中の物体 5節 コンデンサー	電荷が相互に及ぼし合う力や電場の表し方について理解する。 ・電場と電位の関係について理解する。 ・電場中の物体の様子やその内外の電場について理解する。	行動観察 小テスト レポート分析
		2章 電流	1節 電流 2節 直流回路	・キルヒホッフの法則、抵抗率の温度変化、電球の電流特性などについて理解する。	行動観察 小テスト レポート分析
	12	3章 電流と磁場	1節 磁場（磁界） 2節 電流がつくる磁場 3節 電流が磁場から受ける力（電磁力） 4節 ローレンツ力	・直線電流のまわり、円形電流の中心、ソレノイドの内部にできる磁場について理解する。 ・電流が磁場から受ける力について理解を深める。 ・電流が磁場から受ける力を表す式やローレンツ力について理解する。	行動観察 小テスト レポート分析
期末考査					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4章 電磁誘導と電磁波	1節 電磁誘導 2節 自己誘導と相互誘導 3節 交流 4節 電磁波	・中学校での学習を発展させ、電磁誘導について理解を深める。 ・コイルを貫く磁束が変化するとき及び導線が磁束を横切るときに生じる誘導起電力、うず電流、交流発電機の仕組みなどについて理解する。	行動観察 レポート分析
	2				
	3				
		学年末考査			

### 3 評価の観点

知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

物理基礎で身に付けた知識や思考を存分に活かし、積極的に考え、議論することで、身のまわりの物理現象を分析する力を身に付けましょう。また学習をとおして、論理的に物事を考える力を身に付けましょう。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	化学704 化学(実教出版)	副教材等	ベストフィット化学 (実教出版)

### 1 学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	状態変化	物質の構造と融点・沸点	物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			状態間の平衡と熱運動	蒸気圧について学習し、気体の圧力や沸騰が起こるしくみについて理解する。	
	5	気体の性質	結晶の構造 アモルファス	結晶の構造とその種類について理解する。 結晶とアモルファスの違いについて理解する。	
			ボイル・シャルルの法則 気体の状態方程式	気体の圧力、温度、体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。気体の状態方程式を用いて、分子量などを求める。	
	7	溶液	溶解、溶解度、希薄溶液の性質、コロイド溶液	溶解のしくみについて確認し、溶解する量には限界があり、それを溶解度とよぶことを理解する。溶液の性質には、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧があることを理解する。実験を通して、コロイド溶液の性質を理解する。	
			中間考查		
第2学期	6	化学反応と熱・光エネルギー	エネルギーの変換と保存 化学反応と熱エネルギー 化学反応と光エネルギー	化学反応において、反応の前後で物質がもつエネルギーの差がさまざまなエネルギーとして放出されることを理解する。反応の前後で物質がもつエネルギーの差をエンタルピー変化で表すことができるようにする。また、ヘスの法則を理解する。化学反応において、光が関与する反応について理解する。	
			電池と電気分解	電池のしくみについて理解する。 電気分解のしくみについて理解する。	
	7	反応の速さとしくみ	反応の速さ 反応速度を変える条件 反応のしくみ	化学反応には、速い反応と遅い反応があることを理解する。 反応速度を定量的に扱う。 反応速度に影響する条件について理解する。 反応のしくみについて理解する。	
			化学平衡	反応には可逆反応と不可逆反応があることを理解する。 化学平衡について、反応速度の観点から考える。 化学平衡が移動する条件とそのしくみについて理解する。	
第2学期	9	周期表	周期表の元素	周期表における各元素の位置を確認する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			非金属元素	水素と貴ガス ハロゲン(17族)とその化合物	
	金属元素	14~16族元素とその化合物 アルカリ金属とその化合物 アルカリ土類金属とその化合物 1、2族以外の典型元素とその化合物 遷移元素とその化合物 金属イオンの分離と確認		酸素・硫黄・窒素・リン・炭素・ケイ素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。アルカリ金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。アルカリ土類金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。1、2族以外の典型元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。遷移元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。金属イオンの特有の反応を学び、金属イオンの分離方法を理解する。	
			中間考查		

第2学期	11	有機化合物の特徴と分類 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物	有機化合物の特徴、有機化合物の分類、有機化合物の構造式の決定 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸とエステル	有機化合物は非常に多くの種類があることを理解する。有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。有機化合物の化学式を決めるための一連の手順を学ぶ。 アルカン、アルキン、アルケンの構造や一般式、性質、反応を知るとともに、異性体の存在を学ぶ。 アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、鏡像異性体、エステルについて、定義、分類、性質、反応を理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
	12	芳香族化合物	芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物 混合物の分離 期末考查	ベンゼン環を基本骨格とする芳香族炭化水素は、脂肪族炭化水素とは異なることを理解する。フェノール類、芳香族カルボン酸の性質、反応について理解する。アニリンの製法、性質、反応を学び、アゾ染料が合成されることを理解する。有機化合物を分離	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	高分子化合物	高分子化合物の分類と特徴	高分子化合物の分類と特徴、そのでき方について理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
	2	天然高分子化合物 合成高分子化合物	糖類 タンパク質 合成繊維 合成樹脂 合成ゴム 機能性高分子化合物	糖類、タンパク質について、その代表的な物質の構造、性質、存在例などを理解する。 合成繊維、合成樹脂、合成ゴムについて、その代表的な物質の構造、性質、利用例などを理解する。	
	3		学年末考查		

### 3 評価の観点

知識・技能	化学的な事物・現象の観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけている。
思考・判断・表現	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、報告書の作成、発表など探究の方法を習得し、科学的に探究する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、課題を設定し解決しようとする態度や、科学的に探究しようとする態度を身につけている。

### 4 評価の方法

以下の評価対象を総合的に評価する。	
・演習への取り組み（正答率ではなく、期限内に取り組み提出しているかを重視する）	約10%
・実験レポート（成功・失敗ではなく、結果に対して論理的に考察しているか）	約10%
・発問に対する思考態度（積極的な姿勢は主体的な態度で好印象）	約10%
・考查の素点	約70%

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

受験で利用する生徒は多くないと思います。「コレはコレです」というような暗記的な要素ももちろん必要ですが、なるべく理由を関連付けて説明するので、理解・納得することを楽しんでください。受験利用する生徒は授業＋スタサブなどを用いて受験対応的な暗記の知識を平行してつける必要があるので頑張らしましょう。
---

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	生物701 生物（東京書籍）	副教材等	ニューステップアップ生物（東京書籍）

1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	細胞と物質	細胞を構成する成分	さつまいもと鶏肉の構成成分から共通点や相違点に気づく。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			生体膜のはたらき	生体膜の透過について理解する。 これまでに学習した用語を使って、生体膜について整理する。	
	5	代謝とエネルギー	細胞の構造	真核細胞の構造とはたらきについて理解する。	
			タンパク質の構造	アミノ酸の構造、タンパク質の構造について理解する。	
			酵素としてはたらくタンパク質		
			生命現象とタンパク質	生体膜での物質の輸送について理解する。 チャネル、担体、ポンプのはたらきについて理解する。	
			代謝とエネルギー	生物がエネルギーを獲得し、利用するしくみを考える。	
第1学期	6	発生と遺伝子発現	呼吸	呼吸の反応経路と反応の場について理解する。 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系について理解する。 解糖系でどのようにATPが合成されるか理解する。	
			発酵	乳酸菌や酵母が、酸素が少ない呼吸のできない環境でどのようにエネルギーを取り出しているのかを考える。	
	7	遺伝子を扱う技術	光合成		
			中間考查		
			遺伝情報とその発現	DNAの構造 DNAの複製 遺伝情報の流れ RNAと転写 翻訳のしくみ 遺伝情報の変化	正確な複製を可能にするDNAの化学的な特徴や構造はどのようなものなのかを考える。  転写のしくみについて理解する。 翻訳の過程について理解する。 突然変異とアミノ酸配列について理解する。
			発生と遺伝子発現	原核生物の遺伝子発現の調節 真核生物の遺伝子発現の調節 選択的遺伝子発現と細胞分化 動物の発生 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現	大腸菌の環境に対する応答を理解する。 真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 分化した細胞の遺伝子発現について理解する。 動物の配偶子形成について理解する。 原腸形成での細胞の動きと発生運命について理解する。
			遺伝子を扱う技術	発生現象と遺伝子発現の調節 動物の形と調節遺伝子の発現 遺伝子を増幅する技術 塩基配列を解読する技術 遺伝子組換え技術の利用 遺伝子や細胞を扱う技術の課題 期末考查・答案返却	細胞質決定因子について理解する。 ホメオティック遺伝子とホックス遺伝子について理解する。 制限酵素によるDNAの切断について理解する。 お酒に強い人と弱い人で、何が異なるのかを考える。 遺伝子組換え技術はどのように利用されているのか考える。 遺伝子や細胞を扱う技術の課題について理解する。
第2学期	9	動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への流れ	情報の伝達と反応について理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			ニューロンの興奮	静止電位と活動電位について理解する。	
	10	動物の行動	興奮の伝導	興奮の伝導について理解する。	
			興奮の伝達	シナプスと情報の伝達のしくみを理解する。	
			刺激の受容と感覚	動物が、さまざまな刺激を受容器によって受容していることを理解する。	
			中枢神経系での情報処理	中枢神経系について理解する。	
			効果器	筋肉の構造について理解する。	
第2学期	10	植物の環境応答	動物の行動とは	行動発現のしくみについて理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			刺激の受容と行動	行動の神経メカニズムについて理解する。	
	10	植物の環境応答	学習のしくみ	これまでに学習した用語を使って、動物の行動について、図で整理する。	
			被子植物の生殖と発生	被子植物の配偶子形成と受精、胚の発生について理解する。	
			植物の一生の出来事と環境の影響	植物の一生をたどりまとめる。	
			植物ホルモンと光受容体	植物ホルモンと光受容体について理解する。	
			環境要因による発芽の調節	種子の休眠と発芽について理解する。	
第2学期	10	植物の環境応答	茎や根の成長と環境要因の影響	植物の姿や形は、どのような環境要因でどのように変わるのかを考える。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考查の素点
			気孔の開閉の調節と環境要因の影響	気孔の開閉のしくみと環境の変化について理解する。	
	10	植物の環境応答	花芽形成と環境要因の影響	花芽形成と日長の関係について理解する。	
			果実の形成と成熟のしくみ	果実の形成・成長と植物ホルモンについて理解する。	
			器官の老化と脱落のしくみ	葉の老化と脱落について理解する。	
			中間考查		
			中間考查		

	11	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化のしくみ	共通性と多様性をつなぐ深化 生命の誕生 生物の多様性と地球環境の変化 遺伝的変異 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 進化の定義と自然選択による進化 遺伝子レベルでみる進化 種分化	進化によって、共通の祖先から無数に枝分かれをして、現在の多様な生物が誕生したことに気づき、進化が生物に何をもちたかを考える。 同じ種のアサガオの花の色や形がなぜ違うのかを考え、遺伝的変異であることに気付く。 集団中の特定の形質の割合、及びその形質にかかわる対立遺伝子の割合が、世代を経てどのように変化するかを考える。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考査の素点
	12	生物の系統と進化	生物の系統 生物の系統分類 霊長類のなかのヒト 人類の出現と変遷 期末考査・答案返却	生物が進化により現在の生活にいたっていることを見いだし、生物の進化の道筋について考える。 猿人と原人の復元モデルからそれらの違いを見いだし、現生のヒトに至るまでに、どのように変遷してきたのかを考える。	
第3学期	1	個体群と生物群集 生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活	生態系からみた生物 個体群と環境 個体群の構造と成長 個体間の相互作用 種間の相互作用 生物群集の成り立ちと多種の共存 食物網と物質生産 生態系の物質収支と生態ピラミッド 生物多様性 人間社会の変化と生態系 生態系の復元 人間は自然とどう付き合っていけばよいか 学年末考査	日本及び世界で個体数が減少している生物について理解する。 個体群のなかの個体どうしの関係や、異なる個体群どうしの関係があることについて理解する。 個体群の成長は成長曲線の形をとることを理解する。 群れをつくることによる利益と不利益を理解する。 競争的排除について理解する。 時間的・空間的なすみわけについて理解する。 物質生産について理解する。 生産者の物質収支について、用語の意味と関係を理解する。 種の多様性の定義について理解する。 生態系に流出した窒素が、どのような影響をもたらすのか考察する。 外来生物と在来生物について理解する。 生物の持続的な利用について理解する。	演習への取り組み 実験レポート 発問に対する思考態度 考査の素点

### 3 評価の観点

知識・技能	科学的な事物・現象の観察、実験などを行うことを通して、科学の基本的な概念や原理・法則を理解している。科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけている。
思考・判断・表現	科学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、報告書の作成、発表など探究の方法を習得し、科学的に探究する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	科学的な事物・現象に主体的に関わり、課題を設定し解決しようとする態度や、科学的に探究しようとする態度を身につけている。

### 4 評価の方法

以下の評価対象を総合的に評価する。 ・演習への取り組み（正答率ではなく、期限内に取り組み提出しているかを重視する） ・小テストやその他の提出物 ・実験レポート（成功・失敗ではなく、結果に対して論理的に考察しているか） ・発問に対する思考態度（積極的な姿勢は主体的な態度で好印象） ・考査の素点 など
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

選択生物では、生命現象をDNAとタンパク質のレベルでとらえています。皆さんがこれまで慣れ親しんできた生物とはかけ離れているような印象を持つでしょう。しかし現代の生命化学は、探究活動の蓄積の結果、生物をそのように理解しています。そうであればこそ、応用技術の飛躍的発展も可能になりました。生物の見方が変わりますが、それが面白いともいえません。頑張りましょう。
---

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	高等学校 地学(啓林館)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身につけ、科学的に探究する力を養う。また、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	第1節 重力で探る地球の内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>重力の観測、地震波の観測、地殻熱流量の観測、地磁気の観測などから、地球内部の様子がわかることを学ぶ。</li> <li>探究実習1「地球の形と重力」</li> <li>実習1-1「重力加速度の測定」</li> <li>探究実習2「走時曲線を作成する」</li> <li>実習1-2「偏角と伏角を調べる」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>
			第2節 地震波で探る地球の内部		
	第3節 熱で探る地球の内部				
	第4節 地磁気で探る地球の内部				
	5	第2章 プレートテクトニクス	第1節 地球表面を覆うプレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>種々の地学現象をプレートの生成や移動で统一的に理解しようとするプレートテクトニクスの枠組みについて学び、プレートテクトニクスとマンツルの動きについて理解する。</li> <li>やってみよう「海底地形の比較」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>
			第2節 プレートテクトニクスの成立		
第3節 プレートテクトニクスとマンツルの動き					
			中間考査		
6	第3章 地球の活動	第1節 地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や地殻変動、火山の噴火や火成岩の形成などのさまざまな地球の活動を、プレートの運動と関連させて学ぶ。</li> <li>実習1-3「地震と断層の関係を調べる」</li> <li>実習1-4「地形図から断層の動きを読み取る」</li> <li>実習1-5「深成岩の色指数を調べる」</li> <li>やってみよう「変成岩の観察」</li> <li>やってみよう「変成岩と地形の関係を考えよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>	
		第2節 地殻変動			
第3節 火山と火成活動					
第4節 造山帯と変成作用					
7	第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と地層	第1節 地表の変化と堆積物	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層がどのように積み重なり、どのように広がって分布しているかを表す、地質図について学ぶ。また、造山運動による地質構造や変成岩の形成、地層から情報を読み取り地質年代を組み立てることを学ぶ。</li> <li>実習2-1「河岸段丘を観察する」</li> <li>実習2-2「地層を観察・調査し、ルートマップを作成する」</li> <li>実習2-3「地層の広がりや成り立ちを調べる」</li> <li>実習2-4「地質図から地質構造を調べる」</li> <li>やってみよう「岩石の放射線を測定しよう」</li> <li>実習2-5「放射性同位体の半減期を考える」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>	
		第2節 地層の連続とその分布			
第3節 地質年代の組み立て					
					期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第2章 地球・生命・環境の歴史	第1節 地殻の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動の場である地球表層の地殻や大気・海洋と、生物が、46億年に及ぶ地球史の中でどのように変化してきたかを学ぶ。</li> <li>日本に産する岩石や地層の記録から、日本列島の起源や成長の歴史について学ぶ。</li> <li>やってみよう「日本にある世界ジオパークを調べよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>
			第2節 生命の進化		
	第3節 長期の気候変動				
10	第3章 私たちの日本列島	第1節 日本列島	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本に産する岩石や地層の記録から、日本列島の起源や成長の歴史について学ぶ。</li> <li>やってみよう「日本にある世界ジオパークを調べよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>	
		第2節 日本列島の歴史			
10	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	第1節 大気圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気中の水が気象に果たしている役割をとらえ、雨や雲の形成について学ぶ。また、地球全体のエネルギー収支について学ぶ。</li> <li>やってみよう「赤外線放射温度の測定」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>小テスト</li> <li>レポート分析</li> </ul>	
		第2節 雨と雲			
第3節 地球のエネルギー収支					
			中間考査		

第2学期	11	第2章 大気運動	第1節 風 第2節 大気の大循環と世界の気象 第3節 偏西風帯に位置する日本の四季	・風の吹き方と大気の大循環について学び、世界と日本の気候に結びつけて理解する。 実習3-1「高層天気図の利用」 やってみよう 「台風の発生・発達・消滅を調べよう」	行動観察 小テスト レポート分析
		第3章 海洋と海水の運動	第1節 海洋 第2節 海水の運動	・地球環境の形成や維持に大きな役割を果たしている海洋の構造と、海流や深層循環などの海洋の循環、津波や潮汐などの海水の運動について学ぶ。 実習3-2「風による水の運動」	行動観察 小テスト レポート分析
		第4章 気候変動と地球環境	第1節 気候変動 第2節 物質の循環 第3節 人間活動と地球環境	・エルニーニョ現象などの自然な気候変動と、気候変動を引き起こす可能性がある人間の活動について、地球表層の物質の循環・輸送と関連づけて学ぶ。 やってみよう 「エルニーニョ現象・ラニーニャ現象時の日本の気象」	行動観察 小テスト レポート分析
	12	第4部 宇宙の構造	第1節 地球の運動 第2節 惑星の運動 第3節 太陽系の天体 第4節 太陽	・太陽系の天体の運動と特徴について学ぶ。また、太陽系の中で唯一の恒星である太陽について学ぶ。 やってみよう 「星野写真による恒星の日周運動の観察」 探究実習3「惑星の見かけの運動について調べる」 やってみよう 「いろいろな光のスペクトルを見てみよう」 実習4-1「フレアの発生数」	行動観察 小テスト レポート分析
第1章 太陽系の天体					
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2章 恒星の性質と進化	第1節 恒星の光 第2節 恒星の性質とHR図 第3節 恒星の誕生と進化	・遠く離れた恒星の性質について、恒星からの光を調べることで明らかにされてきたことを学ぶ。 実習4-2「視差による天体の距離の測定」 やってみよう「恒星が放射する光の観察」 探究実習4 「恒星の明るさと表面温度の関係を調べる」 やってみよう「いろいろな惑星状星雲を調べよう」	行動観察 小テスト レポート分析
			第3章 銀河系と宇宙	第1節 銀河系 第2節 銀河と宇宙 第3節 膨張する宇宙	・恒星と星間物質の大集団である銀河系や遠くの銀河などの天体、宇宙の構造や膨張について学ぶ。また、それが天体観測技術の発達によって次第に可能になっていったことを学ぶ。 探究実習5「星団と星雲の分布を調べる」 実習4-3「銀河の赤方偏移と後退速度」 実習4-4「ハッブル・ルメートルの法則」 やってみよう「宇宙の膨張について考えよう」 やってみよう「近年の宇宙研究について調べよう」
	3				
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。
思考・判断・表現	地学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。 事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。
主体的に学習に取り組む態度	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

地学では、地学基礎で学んだ地球と宇宙に関する自然現象について、幅広くかつ深く学んでいきます。扱う内容は、基礎科目よりも複雑になり、空間的にも時間的にもスケールが多岐にわたります。日頃から、天気予報、地震、火山、宇宙開発や環境問題等に関する番組や新聞記事、書籍等に親しむようにしましょう。  
科学的思考力を重視して授業を行います。自分の考えは根拠を持って表現しましょう。グループワークや観察・実験を行う際は、仲間と協力して学習を進めていきましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	高等学校 地学基礎(啓林館) 高等学校 新化学基礎(第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

基礎的な科学の知識を身につけ、基本的な科学的概念や原理を学び、自分の言葉で現象を表現する。  
また自然現象を科学の立場から理解し、実際の現象を実験し観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 第2章 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の概観と内部構造</li> <li>プレートテクトニクスと地球の活動、地震、火山活動と火成岩の形成</li> </ul>	地球の概観について学び、内部構造について理解する。プレートと地球の活動について学び、地質構造、変成岩の形成、地震、火山活動、火成岩の形成について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>レポート分析</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	5	第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気圏、水と気象</li> <li>地球のエネルギー収支、大気の大循環、海水の循環</li> <li>日本の位置、冬から春の天気、夏から秋の天気</li> </ul>	大気の層構造および水と気象の関係について学ぶ。地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。 実験・観察や理論的な推測を基に、事象を言葉で表現する。他者との関わりからよりよい表現方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>レポート分析</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	6	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の誕生、太陽系の誕生</li> <li>先カンブリア時代、顕生代</li> <li>地層からわかること、地層の形成、地層の読み方</li> </ul>	宇宙のはじまりの様子や太陽系の誕生、太陽系の各天体の特徴について学ぶ。 古生物の変遷と地球環境の変化について学ぶ。堆積岩とその形成や地層について学び、地球の歴史について理解する。 実験・観察や理論的な推測を基に、事象を言葉で表現する。他者との関わりからよりよい表現方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>レポート分析</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	7	第4部 自然との共生 第1節 地球環境と人間 第2節 地震災害・火山災害 第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 人間生活と地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境と人間活動の影響、日本の災害と防災</li> </ul>	地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。 実験・観察や理論的な推測を基に、事象を言葉で表現する。他者との関わりからよりよい表現方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>レポート分析</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	I章 物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1節 物質とその構成要素</li> <li>第2節 物質と化学結合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質を分類することができ、物質の成り立ちを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	10	II章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1節 物質と化学反応式</li> <li>第2節 酸・塩基とその反応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質と化学反応式について理解する。</li> <li>酸塩基について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
第2学期		第3節 酸化還元反応		<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応について理解する</li> </ul> 実験・観察を通したり、理論的な推測から性質を推測する	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>小テスト</li> </ul>

	11			推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ。	・発表
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		課題研究発表（プレゼンテーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。</li> <li>発表材料の作成を通して表現の手法について学ぶ。</li> <li>発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>発表</li> </ul>

### 3 評価の観点

知識・技能	地球や地球を取り巻く環境や物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身に付けている。 地球や地球を取り巻く環境や物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境や物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境や物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

地学基礎、化学基礎で十分に実験を行うことができなかったと思います。復習を兼ねながら実験を行い、深い理解が得られるように学習していきましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	物理(東京書籍) 化学(実教出版) 生物(東京書籍)	副教材等	新課程版 スタディーノート物理(第一学習社) ベストフィット化学(実教出版) ニューステップアップ 生物(東京書籍)

1 学習の到達目標

物理・化学・生物の知識を身につけ、科学的概念や原理を理解し、自分の言葉で現象を表現する。  
身のまわりの現象を物理学・化学・生物学的に探究する能力を身につける。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	化学(必修) 化学基礎	第1章 物質の構成 第2章 物質の変化	問題演習や実験をとおして、物質の構成や物質の変化について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
	5	物理(選択) 物理基礎	1編 物体の運動とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー	問題演習や実験をとおして、物体の運動とエネルギーやさまざまな物理現象とエネルギーについて理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
		生物(選択) 生物基礎	1編 生物の特徴 2編 遺伝子とそのはたらき 3編 ヒトの体の調節 4編 生物の多様性と生態系	問題演習や実験をとおして、生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、ヒトの体の調節、生物の多様性と生態系について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
			中間考査		
第1学期	6	化学(必修) 1章 物質の状態と平衡	第1章1節 状態変化 第1章2節 固体の構造 第1章3節 気体の性質 第1章4節 溶液	問題演習や実験をとおして、状態変化や固体の構造、気体の性質を理解し、溶液のしくみについて理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
	7	物理(選択) 1編 さまざまな運動	1編1章1節 平面内の運動 1編1章2節 放物運動 1編2章1節 剛体と力のモーメント 1編3章 運動量	問題演習や実験をとおして、平面内の運動や放物運動、剛体と力のモーメントについて理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
		生物(選択) 1編 生物の進化	1編1章 生命の起源と細胞の進化 1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1編3章 生物の系統と進化	問題演習や実験をとおして、生命の起源と細胞の進化、遺伝子の変化と進化のしくみ、生物の系統と進化について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	化学(選択) 2章 物質の変化と平衡	2章1節 化学反応と熱・光エネルギー 2章2節 電池と電気分解 2章3節 反応の速さとしきみ 2章4節 化学平衡	問題演習や実験をとおして、化学反応と熱・光エネルギー、電池と電気分解、反応の速さとしきみ、化学平衡について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
	10	物理(選択) 2編3章 光 1編 さまざまな運動	2編3章 光 1編4章1節 円運動 1編5章2節 さまざまな単振動 1編6章2節 万有引力	問題演習や実験をとおして、光やレンズ、円運動、単振動、万有引力について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
		生物(選択) 2編 生命現象と物質	2編1章 細胞と物質 2編2章 代謝とエネルギー	問題演習や実験をとおして、細胞と物質、代謝とエネルギーについて理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
		中間考査			

第2学期		化学(選択) 第3章 無機物質	3章1節 周期表 3章2節 非金属元素 3章3節 金属元素	問題演習や実験をとおして、周期表、非金属元素、金属元素について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
	11	物理(選択) 4編 原子	4編1章 原子と光 4編2章 原子と原子核	問題演習や実験をとおして、原子と光、原子と原子核について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
	12	生物(選択) 3編 遺伝情報の発現と発生	3編1章 遺伝情報とその発現 3編2章 発生と遺伝子発現 3編3章 遺伝子を扱う技術	問題演習や実験をとおして、遺伝情報とその発現、発生と遺伝子発現、遺伝子を扱う技術について理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート分析 ・小テスト
				期末考査	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		課題レポート	・与えられた課題についてレポートを作成する。	・レポート分析

### 3 評価の観点

知識・技能	物理学・化学・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物理学・化学・生物学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	物理学・化学・生物学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

化学・物理・生物への理解を深め、科学的・論理的に事物を考える力を身に付けましょう。

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組 国際人文科 8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①集団の合意形成に貢献しながら、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。</p> <p>②グループで活動する場面で、状況に応じた自己や仲間の役割を見つけることができる。</p> <p>③競技の本質をとらえた動きを身につけ、正規のルールに近づけた試合をすることができる。</p> <p>④競技会の仕方や審判の方法について理解できる。</p>
---

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論（三学年次）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</li> <li>ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育理論新聞</li> </ul>
	陸上競技	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち幅跳び</li> <li>ハンドボール投</li> <li>50m走（タイムトライアル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> </ul>
5 6 7	球技 ①～④から1種目選択します。	①バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使ったウォーミングアップ（直上パス・3段攻撃）</li> <li>チーム練習</li> <li>リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>戦術についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		②テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サービス、ストローク、ドロップ、ボレー）</li> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		③バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ）</li> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5 6 7		④ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチボール</li> <li>トスバッティング</li> <li>守備練習（シートノック）</li> <li>打撃練習（実践打撃）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>スキルテスト</li> </ul>
	体育理論	体育理論（三学年次）	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ振興のための施策と諸条件</li> <li>スポーツと環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育理論新聞</li> </ul>

9	体づくり運動	体づくり運動 長縄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試しの長縄跳び</li> <li>・クラスの課題発見</li> <li>・目標設定</li> <li>・協力して課題解決</li> <li>・体育祭に向けての作戦</li> <li>・体力の限界に挑戦する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録計測</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> </ul>
10 11 12	球技 ①～④から前期と別の1種目選択します。	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ったウォーミングアップ (リフティング・3対1)</li> <li>・チーム練習</li> <li>・リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>・戦術についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>
10 11 12		テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>・基本的な個人技術 (サーブ、ストローク、ドロップ、ボレー)</li> <li>・実践練習 (シングルス、ダブルス)</li> <li>・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>・リーグ戦</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>
10 11 12		バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ったウォーミングアップ</li> <li>・チーム練習</li> <li>・競技会の仕方についての話し合い</li> <li>・作戦についての話し合い</li> <li>・競技会</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>
10 11 12		バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>・基本的な個人技術 (サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ)</li> <li>・実践練習 (シングルス、ダブルス)</li> <li>・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>

### 3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5. 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
- ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
- ③時間を守り集合・整列してください。
- ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「スポーツ理論」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

<p>①スポーツや健康に関する総合的な理解を通じて、生涯にわたって「する・みる・支える・調べる」等の多様な関わり方について考察しながらスポーツや健康の発展に寄与できる資質や能力を育てる。</p> <p>②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。</p> <p>③ スポーツや健康について生理学、心理学、力学、栄養学、コーチング学、トレーニング学、スポーツ医学、障害者スポーツ、スポーツ共創等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。</p>
---

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6	オリエンテーション 運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツにおける技術と戦術</li> <li>・技能の上達過程と練習</li> <li>・効果的な動きのメカニズム</li> <li>・技能と体力</li> <li>・体力トレーニング</li> <li>・運動やスポーツでの安全の確保</li> </ul>	<p>技術と技能の違い、戦術と作戦と戦略の違いについて理解する。</p> <p>技能の上達過程と効果的な練習方法について理解する。</p> <p>効果的な動きの開始と持続、コントロールについて理解する。</p> <p>運動・スポーツにおける技能と体力の関係について理解する。</p> <p>体力トレーニングの基礎理論と進め方に関して理解する。</p> <p>運動やスポーツの怪我の実態や行う際の注意点を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
7	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの作成</li> </ul>	<p>レポートを作成し、提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>
9 10 11	運動・スポーツの文化的特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとって「動く」とは何か</li> <li>・スポーツの始まりと変遷</li> <li>・文化としてのスポーツ</li> <li>・オリンピックと国際理解</li> <li>・スポーツと経済</li> <li>・ドーピングとスポーツ倫理</li> <li>・スポーツ共創</li> </ul>	<p>人間にとっての運動の意味、動きの工夫と文化について理解する。</p> <p>スポーツの始まりと発展、近代スポーツ、国際スポーツについて理解する。</p> <p>スポーツ文化の変容とメディアについて理解する。</p> <p>オリンピックとオリンピックムーブメント、オリンピックの変貌について理解</p> <p>スポーツの経済波及効果と拡大するスポーツ産業について理解する。</p> <p>ドーピングとスポーツ倫理について理解する。</p> <p>グループになりスポーツを創り、概要を発表し共有する。</p> <p>それぞれのグループで創ったスポーツを実践してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
12	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KP法</li> </ul>	<p>1学期の活動で学んだことをKP法でまとめて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
1 2 3	豊かなスポーツライフの設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの見方・考え方</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツ</li> <li>・日本のスポーツ振興</li> <li>・スポーツと環境</li> </ul>	<p>社会の変化とスポーツの役割、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について理解する。</p> <p>いろいろなスポーツライフスタイル、豊かなスポーツライフの設計について理解する。</p> <p>日本のスポーツ振興の歩み、地域とスポーツクラブについて理解する。</p> <p>スポーツと環境問題、環境保護について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
3	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの作成</li> </ul>	<p>レポートを作成し、提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>

3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①安全面には特に配慮し、事故が起らないように注意してください。</p> <p>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</p> <p>③時間を守り集合・整列してください。</p> <p>④「スポーツ理論」の目的や意味をそれぞれ考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。</p>
--

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「生涯スポーツ」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①運動の楽しさや喜びを深く味わい、ルールやマナーを大切に活動できる。</p> <p>②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。</p> <p>③高度な技能を身につけ、勝敗を競ったり攻防を展開したりすることができる。</p> <p>④授業の企画や実際に運営するに当たっての方法について理解できる。</p>
---

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯スポーツ	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目標や内容、注意点を理解し、自分の運動欲求を満たすだけでなく、全員が安全に楽しめるように企画運営していくことを学ぶ。</li> <li>・知っている者同士でグループにならず、だれとでもコミュニケーションをとれるようにグループ分けをする。</li> <li>・男女でわかれるので、活動場所が重ならないように年間の予定種目決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート（班分け表）分析</li> <li>・ワークシート（年間予定表）分析</li> </ul>
5			<p>《企画班》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画表を作成し、準備する用具、企画班の役割分担、1時間の授業の流れ等を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート分析（企画表）分析</li> </ul>
6			<p>《実際に運営》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の準備、準備運動を行う。</li> <li>・補助トレーニングを運営する。</li> <li>・ミニスポーツ大会を実施し、結果発表する。</li> </ul> <p>《企画班以外》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画班の運営に従い、安全に気を付け、コミュニケーションをとりながら公正にスポーツを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・大会の行動観察</li> </ul>
7		種目を考え、選択する	<p>《全員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人カードを毎回記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>
9		女子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭でダンス発表をするための、生徒会にかかわる手続きを行う。</li> <li>・文化祭でダンスを発表する。（女子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動分析</li> <li>・発表演技</li> </ul>

10			<p>《企画班》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画表を作成し、準備する用具、企画班の役割分担、1時間の授業の流れ等を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート分析（企画表）分析</li> </ul>
11			<p>《実際に運営》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用具の準備、準備運動を行う。</li> <li>補助トレーニングを運営する。</li> <li>ミニスポーツ大会を実施し、結果発表する。</li> </ul> <p>《企画班以外》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画班の運営に従い、安全に気を付け、コミュニケーションをとりながら公正にスポーツを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>大会の行動観察</li> </ul>
1		種目を考え、選択する	<p>《全員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人カードを毎回記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>レポート分析</li> </ul>
			<p>《全員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人カードを毎回記録するとともに、1年間の振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート分析</li> </ul>

### 3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
- ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
- ③時間を守り集合・整列してください。
- ④「生涯スポーツ」の意味を考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。

## 令和8年度 芸術科「音楽研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 1～7組
教科書	Joy of Music (教育芸術社)	副教材等	楽典 (音楽之友社) コールユーブンゲン (全音楽譜出版社)

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーブンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律・リズム)	・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
	5	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	楽典 ・ 音の長さ、高さ ・ 記号 ・ 音程  中間考査	・ 基礎的な音楽理論について理解を深める。	
	6	楽曲を理論的に聴き、分析しよう	鑑賞・音楽史 ・ 音階から、楽曲の比較	・ 様々な時代の音楽や音楽形態を意欲的に鑑賞する。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深める。	
7		期末考査			
第2学期	9	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーブンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律・和声)	・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・音を聴いて、楽譜を書くことができる。また、そのための技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
10	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	楽典 ・ 音階 ・ 和音 ・ 移調  中間考査	・ 基礎的な音楽理論について理解を深める。		
11	楽曲を理論的に聴き、分析しよう	鑑賞・音楽史 ・ 調性から、楽曲の比較 ・ 調 ・ 移調/転調	・ 音楽理論について意欲的に学び、理解を深める。 ・ 様々な時代の音楽や音楽形態を意欲的に鑑賞する。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深める。		
	12		期末考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
第3学期	1	1年間で習得した知識と技能を生かして、創作の工夫をしよう	【個人課題提出】 ・ 編曲作品の提出 ・ ICTを用いて、編曲音源を流し楽譜を共有しプレゼンテーションする	曲の構成などを理解し曲の雰囲気を感じる。 ・ 1年間で学んだ成果の発表の場として、計画を立てて取り組む。 ・ 自ら進んで学習し、移調楽器等の理解を深め、楽曲の雰囲気を感じ取って、編曲を工夫する。	
	2				
	3		学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

## 令和8年度 芸術科 「音楽実技α」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次1～7組
教科書	高校生の音楽1(教育芸術社)	副教材等	保育者を目指すあなたへコードで弾けるピアノ伴奏法

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	歌唱に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう	<b>【童謡】</b> ・季節の歌 ・手遊び歌  <b>【音楽の三要素】</b> ・音階について	・基礎的な奏法を身に付け、演奏にいかしていく。 ・音楽理論への関心を高め、意欲的に音楽表現に活かしていく。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・音階についての理解を深める。 ・楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・仲間と協調し合って音楽を作り上げる。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	5		中間考査		
	6	和音の響きを味わって表現活動をしよう	<b>【コード】</b> ・和音の機能 ・主要三和音 ・コード進行  <b>【音楽の三要素】</b> ・リズム・和音について	・基礎的な奏法を身に付け、演奏にいかしていく。 ・音楽理論への関心を高め、意欲的に音楽表現に活かしていく。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・和音、リズムについての理解を深める。 ・楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じる。 ・さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・仲間と協調し合って音楽を作り上げる。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	7		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	コードについての知識を踏まえ、ウクレレでいろいろな曲を弾こう	<b>【ウクレレ】</b> ・コード練習  <b>【弾き歌い】</b> ・童謡に伴奏をつけて歌う	・基礎的な奏法を身に付け、演奏にいかしていく。 ・音楽の理論をいかして、より良い演奏を行う。 ・音楽理論への関心を高め、意欲的に音楽表現に活かしていく。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・音階や和音、リズムについての理解を深める。 ・楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・曲想に応じて表現する技能を身に付けている。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	10				

第2学期			中間考査		
	11	音楽の諸要素を使い、リトミック活動をアレンジしよう	【リトミック】 楽しく音楽と触れあいながら、潜在的な基礎能力を引き出す方法を習得します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声などを含め、個性豊かに表現する。</li> <li>・楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。</li> <li>・さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・仲間と協調し合って音楽を作り上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・実技試験</li> </ul>
	12		【アンサンブル】 「ハンドベル・メドレー」		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	一年間の学びを生かして、音楽の良さをアピールしよう	【個人課題発表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人課題発表に向けての取り組み。</li> <li>・演奏する楽曲への理解を深め、表現の工夫を行う。</li> <li>・仲間の演奏を聴き、今後の演奏に生かしていこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・実技試験</li> </ul>
	2				
	3				
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

## 令和8年度 芸術科「音楽実技β」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 1～7組
教科書	高校生の音楽1(教育芸術社)	副教材等	・音楽通論(教育芸術社)・エチュード等楽譜

### 1 学習の到達目標

音楽表現に必要な基礎的な音楽理論について理解を深めるとともに、時代ごとの音楽の特徴について理解し、創造的に表現する能力を養う。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	専攻楽器の基礎基本を定着させ、知識を生かした表現を工夫しよう	専攻実技 ・エチュード	・主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技術を身に付ける。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	5	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーフンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律・リズム)	・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技術を身に付ける。	
			中間考査		
	6	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	音楽通論 ・音の長さ、高さ ・記号 ・音程	・基礎的な音楽理論について理解を深める。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	7	自他の音楽に触れ、練習に生かそう	鑑賞 ・実技披露鑑賞会	・様々な楽器で演奏する音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 ・仲間の演奏課題を見つけ、練習の方法など具体的なアドバイスをする。	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	専攻楽器の基礎基本を定着させ、知識を生かした表現を工夫しよう	専攻実技 ・エチュード ・任意の曲	・主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技術を身に付ける。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	10	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーフンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律)	・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技術を身に付ける。	
			中間考査		
	11	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	音楽通論 ・音階 ・関係調	・基礎的な音楽理論について理解を深める。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	12	自他の音楽に触れ、練習に生かそう	【鑑賞】 ・実技披露鑑賞会	・様々な楽器で演奏する音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 ・仲間の演奏課題を見つけ、練習の方法など具体的なアドバイスをする。	
			期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	1年間で習得した知識と技能を生かして、お互いを尊重しながら演奏の工夫をしよう	アンサンブル課題発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構成などを理解し表現を工夫する。</li> <li>・楽曲の雰囲気を感じ取って、表現を工夫する。</li> <li>・任意の楽曲に計画を立てて取り組み、表現の場とする。</li> <li>・豊かに表現できるように楽曲を理解する。</li> <li>・自ら進んで活動に取り組み、模範演奏等を参考にしながら良い演奏ができるように取り組む。</li> <li>・声や楽器の音色を工夫して演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・実技試験</li> </ul>
	2				
	3		学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

令和8年度 外国語科「論理表現β」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 選択者
教科書	CROWN Logic and Expression II (三省堂)	副教材等	Logical English Reading 1 (三省堂)

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した学習を通じて、英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。  
 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を身に付ける。  
 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	【話すこと(やり取り) - 実生活】 身近な話題についての賛成、反対を、相手の意見を確認しながら、理由と共に述べることができる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループで、簡単なディスカッションで物事を決めることができる。	Lesson 1 ~ Lesson 2	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
5	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で明確に自分の意見や理由を述べるができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 ある程度社会的な話題について、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Lesson 3 ~ Lesson 4	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
6	【書くこと - 実生活】 高校生向けの新聞や掲示板等に、自分の考えを投稿することができる。 【書くこと - 授業内】 社会的な話題について、序論・本論・結論の paragraph 構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson 3 ~ Lesson 4	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
7	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べるができる。	Lesson 5 ~ Lesson 6	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
9	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 7 ~ Lesson 9	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
10	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 5 ~ Lesson 6	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
11	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 7 ~ Lesson 9	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
12	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 5 ~ Lesson 6	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
12	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 7 ~ Lesson 9	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				

第2学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 5 ~ Lesson 6	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
10	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 5 ~ Lesson 6	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
11	【話すこと(やり取り) - 実生活】 立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。 【話すこと(やり取り) - 授業内】 少人数のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。 【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 7 ~ Lesson 9	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○		6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				
12	【話すこと(発表) - 実生活】 社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。 【話すこと(発表) - 授業内】 社会的な話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。話し終えた後、簡単な質問に対処できる。 【書くこと - 実生活】 自己推薦文や履歴書等の公的文書を読み手の関心を引くように書くことができる。 【書くこと - 授業内】 グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson 7 ~ Lesson 9	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○		9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			思			○	○				

第3学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	2学期に準じる	Lesson 10	日常的や話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて伝え合ったり、話して伝えたりする。	知			○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			日常的や話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	思			○	○	○		
1	2学期に準じる	Lesson 10	日常的や話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	知			○	○	○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
			日常的や話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどについて書いて伝える。	思			○	○	○		

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能			英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開を活用し、情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開を活用し、情報や考え、気持ちなどを話して伝える技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開を活用し、情報や考え、気持ちなどを書いて伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現			コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝え合ったりしている。	コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。
主体的に学習に取り組む態度			外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	○授業内での活動に、積極的に取り組みましょう。 ○失敗を恐れず、自分の意見や考えを英語で表現することに挑戦しましょう。 ○文法や単語の知識は、コミュニケーションの基礎を固めてくれます。自ら進んで学習しましょう。 ○自分とは異なる考え、物の見方との出会いを、楽しみましょう。
--	---

令和8年度 外国語科「多読と表現活動」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3年・1～7組
教科書	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION III (開隆堂)	副教材等	読解力と表現力を高めるSDGs英語長文Core (三省堂)

1 学習の到達目標

SDGsに関する文章を英語で読み、SDGsについての理解を進めるとともに、自分の思いや考えを英語で表現できるようになる。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)	
					聞	読	取	書			
4	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson1	【内容】 貧困をなくそう 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	授業中の活動 発表 課題提出 小テスト	
	社会的な話題について、序論本論結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson2	【内容】 飢餓をゼロに 【活動】 長文読解、要約、リテリング、ライティング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
5	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson3	【内容】 すべての人に健康と福祉を 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
	ある程度社会的な話題について、即興で明確に自分の意見を述べたり、説明をしたりができる。	Lesson4	【内容】 質の高い教育をみんなに 【活動】 長文読解、要約、リテリング、発表活動	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
6	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson5	【内容】 ジェンダー平等を実現しよう 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		授業中の活動 発表 課題提出 小テスト
	社会的な話題について、序論本論結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson6	【内容】 安全な水とトイレを世界中に 【活動】 長文読解、要約、プレゼンテーション	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
7	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson7	【内容】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
	身近な話題についての賛成、反対を、相手の意見を確認しながら理由と共に述べることができる。	Lesson8	【内容】 働きがいも経済成長も 【活動】 長文読解、要約、ライティング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8		
期末 考查	期末考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	リーディングとライティングを中心とした総合的な問題を出題	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	書		
9	3年生用の教科書の内容や、関連する発展的記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson9	【内容】 産業と技術革新の基盤を作ろう 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	授業中の活動 発表 課題提出 小テスト
	立場や状況に応じて、自分の信念、意見、賛成、反対を論理立てて議論できる。	Lesson10	【内容】 人や国の不平等をなくそう 【活動】 長文読解、要約、ライティング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
10	3年生用の教科書の内容や、関連する発展的記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson11	【内容】 住み続けられる町作りを 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
	社会的な話題について、即興で客観的な視点から意見や理由を述べることができる。	Lesson12	【内容】 つくる責任 つかう責任 【活動】 長文読解、要約、発表活動	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
11	3年生用の教科書の内容や、関連する発展的記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson13	【内容】 気候変動に具体的な対策を 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	授業中の活動 発表 課題提出 小テスト
	少数者のグループのディスカッションをリードし、他の人の発言を促しながら、意見をまとめることができる。	Lesson14	【内容】 海の豊かさを守ろう 【活動】 長文読解、要約、会話活動	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
12	3年生用の教科書の内容や、関連する発展的記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM150)	Lesson15	【内容】 陸の豊かさを守ろう 【活動】 長文読解、要約、リテリング	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
	グラフや資料などのデータに基づき、客観的な視点から主張を述べることができる。	Lesson16	【内容】 平和と公正をすべての人に 【活動】 長文読解、要約、発表活動	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	
期末 考查	期末考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	リーディングとライティングを中心とした総合的な問題を出題



単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・3年次・選択者
教科書	図説家庭基礎（実教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、住まいに関する知識と技術を総合的に習得させる。家庭や地域の生活課題を主体的に解決する判断力を養い、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。未来へ向かってよりよく生きるための生活の知恵や工夫を体験的な学習活動を交えて学ぶ。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	6章 装う 1節 人の一生と衣服	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な被服</li> <li>被服の成り立ちと着方</li> </ul>	被服の形、色、柄、伝統的な文様について理解し、自分らしく装うことについて学習します。	行動観察 授業プリント
	5	2節 被服材料と管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>*被服構成実習</li> <li>ミシンの直線縫い</li> <li>まつり縫い</li> <li>刺し子</li> <li>アイロンかけ</li> </ul>	実習を通して、ミシンの扱い方、道具の扱い方、まち針の止め方、直線縫い、まつり縫い、アイロンのかけ方などを学習します。	行動観察 授業プリント 作品提出
	6	3章 充実した生涯へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>*車椅子体験実習</li> <li>*介助体験実習</li> </ul>	高齢社会の現状と課題を正しく理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。	行動観察 授業プリント 実習レポート 提出物
	7		期末考査		期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	5章 食べる 1節 人の人生と食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べることと健康</li> <li>*調理実験</li> <li>環境に配慮した食生活</li> <li>*調理実習①</li> <li>*調理実習②</li> <li>*調理実習③</li> <li>加工食品</li> <li>健康増進のための食品</li> </ul>	自分の食生活の実態、生涯の健康と食事の関係を考えます。 調理に関しての基礎的な知識と技術を身に付け、環境に配慮した食生活について考えます。 調理実習を行い、家族の食事を作ることができるようにします。 加工食品を上手に利用するポイントを考えます。	行動観察 授業プリント 実習レポート
	10	2節 栄養と食品 3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする			
	11	4章 ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障制度と福祉</li> </ul>	私たちの一生はどのような制度で守られているか理解します。	行動観察 授業プリント
	12	7章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と住まい</li> <li>ライフステージと住まい</li> <li>快適で健康な住まい</li> </ul>	気候風土や生活機能に応じた住空間の構成や住居の変遷について理解します。ライフスタイルと住まいのかかわりについて考えます。 快適で健康に住まうための住宅設備や管理方法について理解します。	行動観察 授業プリント 提出物
	12		期末考査		期末考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	9章 生活をデザインしよう	・これからの生活を考える	成年として自立した生活を送るためのルールやマナーについて学びます。一人暮らしにかかる費用など、将来の家計について考えます。	行動観察 授業プリント 提出物

### 3 評価の観点

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。定期考査、授業中に使ったプリント、実習作品、提出物の内容、及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。 実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。 家庭科では、生活者として自分はどう行動すべきかといった意思決定について授業を通して学んでいきます。 授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。 考査は1学期末、2学期末の2回です。
---

## 令和8年度 情報「情報Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年選択者
教科書	情報Ⅱ (実教出版)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

情報科は、他の教科等の学びとあわせて、このような変化する社会で子供達が生きていくための資質・能力を育むものでなければならない。情報科では、情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション 第1章 情報社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報社会の進展</li> <li>■ 知的活動の変化</li> <li>■ X-Tech による社会の変化</li> <li>■ 情報セキュリティ</li> <li>■ クラウドサービスの利用</li> <li>■ 法と制度の整備</li> <li>■ メディアとさまざまなコンテンツ</li> <li>■ コミュニケーションの多様化</li> <li>■ コンテンツの制作</li> </ul>	発表 授業での行動観察 プリント
5	第2章 データサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データサイエンスと社会</li> <li>■ データの収集</li> <li>■ データの整理と変換</li> <li>■ データの分析と可視化</li> <li>■ 統計的推測</li> <li>■ 機械学習の概要</li> </ul>	
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データサイエンスと社会</li> <li>■ データの収集</li> <li>■ データの整理と変換</li> <li>■ データの分析と可視化</li> <li>■ 統計的推測</li> <li>■ 機械学習の概要</li> </ul>	
7		定期考査	
9	第3章 プログラミング言語  第4章 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ JavaScript の基礎</li> <li>■ Python の基礎</li> <li>■ Python のモジュール</li> <li>■ 社会の中の情報システム</li> <li>■ 情報システムの分類</li> <li>■ 情報システムの開発</li> <li>■ 設計手法</li> <li>■ Webシステムの仕組み</li> </ul>	発表 授業での行動観察 プリント  など
1 2 3	動画編集  広告作成  発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ JavaScript の基礎</li> <li>■ Python の基礎</li> <li>■ Python のモジュール</li> <li>■ 社会の中の情報システム</li> <li>■ 情報システムの分類</li> <li>■ 情報システムの開発</li> <li>■ 設計手法</li> <li>■ Webシステムの仕組み</li> </ul>	発表 作品 授業での行動観察 プリント
		定期考査なし	

### 3 評価の観点

知識・技能：(知)	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。
思考・判断・表現：(思)	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度：(主)	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

### 4 評価の方法

<p>1 学期，2 学期の考査が年間の成績の主になります。</p> <p>その他で，普段の提出物（レポート，課題）等があるので，期日までに必ず提出してください。</p> <p>3 学期は考査実施しません。</p> <p>授業態度について，授業中の居眠りや怠慢に関しては，限度を超えたと授業担当者が判断した際に，注意 1 回につき 1 点減点とします。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ

（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>PCの基礎的・基本的な技能を身につけるための演習は最初のうちでどんどん発展的な内容に取り組んでいきます。日ごろからPCに触れておいて肌感覚で覚えていきましょう！</p>
---

令和8年度 国語科「言語活用β」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	国語表現（大修館書店）	副教材等	国語表現基礎練習ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

- ・国語を適切かつ効果的に表現する能力を育成する。
- ・伝え合う力を高める。
- ・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現しようとする態度を育てる。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現する力	・文章表現の基本である用語を適切に用いよう。・課題文を読み取り、要旨をまとめよう。	漢字・語句について 評論文や随筆の主張を掴む	・漢字を正しく書けるようにする。・語句の意味を理解し、文脈に応じて適切に使いこなせるようにする。[教材の合間で年間10回程度実施]・作者の主張を正しく理解し、短くまとめられるようにする。	・課題プリント ・小テスト
5		・わかりやすい表現を身につけよう。	「整った文を書く」等	・主述の関係・修飾関係・副詞の呼応・一文の長さ・慣用表現等に配慮したわかりやすい文章表現を身につける。	・テキスト点検 ・ワークシート点検
6	・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫する力	・目的に応じた文章を工夫し、表現しよう。 ・論理的に文章を組み立てよう	「原稿用紙の使い方」、「小論文の書き方」等	・原稿用紙の使い方を理解する。・論点を整理し、構成の整った文章を書く。・指摘事項を基に推敲し清書する。	・ワークシート分析 ・作文分析 ・行動観察 ・ワークシート点検
7	・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理する力	・自分の主張を相手に効果的に伝えよう。 ・正しい敬語表現を身につけよう。	「効果的なPR」を発表する  「敬語」の誤用の訂正等 「志望動機」作成の準備	・プレゼンテーションの形式と手順を理解する。・論点を整理し、発表する。 ・発表を的確に聞き取り、適切に評価して批評し合う。  ・正しい敬語の使い方を理解し、場に応じた適切な言葉遣いを身につける。	・テキスト点検 ・ワークシート分析  ・テキスト点検 ・ワークシート分析
		・自分の考えが伝わる文章を書こう	「志望動機」作成の準備 期末考査	・効果的な志望動機を書くための材料を、例から読み取る。	
9	目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする力	・自分の思いや考えが伝わる文章を書こう	「志望動機」記述	・調べたことやまとめたことをもとに、下書きを書く。・指摘事項を基に推敲し清書する。	・ワークシート分析 ・ワークシート点検 ・作文分析
		・自分の主張を相手に効果的に伝えよう。	「ディベート」を行う	・ディベートの形式と手順を理解する。 ・自分の主張、反対意見などを考え、構成メモを書く。 ・グループで読み合い、批評する。	・ワークシート分析 ・ワークシート点検
10	互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫する力			・論点を整理し、討論する。 ・発表について批評し合う。	

11	表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面・相手・手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じた文章を書こう。</li> </ul>	「手紙文」記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の基本的な形式を確認し、理解する。</li> <li>恩師への手紙（進路報告）を書く。</li> <li>同窓会の案内などを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト点検</li> <li>ワークシート分析</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験や感動が効果的に伝わる文章を書こう。</li> </ul>	「自分史」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分史」の構成や書く目的を理解する。</li> <li>「自分の生まれた日」の社会の動静について、その日の新聞（縮刷版）を調べてまとめる。</li> <li>「自分史年表」を書く。</li> <li>構成を考え、下書きを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート分析</li> <li>行動観察</li> <li>作文（下書き）分析</li> </ul>
			期末考査		
1	自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直す力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験や感動が効果的に伝わる文章を書こう。</li> </ul>	「自分史」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>下書きで指摘された事項や誤字脱字、文のねじれ等、表現が不適切な箇所を推敲する。</li> <li>ペン書きで清書する。</li> <li>表紙や目次、参考資料を揃え、冊子として完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作文（清書）分析</li> <li>作品の分析</li> </ul>
2					
3					

### 3 評価の観点

知識・技能	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話的に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。</p> <p>【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

### 4 評価の方法

知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「言語活用β」は、授業への参加が大変重視される科目です。休まず出席することはもちろん、毎時間の授業ごとに提出してもらったテキストやワークシートをきちんと仕上げること、さらには授業以外で出される課題等を期限を守って必ず提出することなどを心がけてください。また、定期考査は1学期と2学期の期末考査の2回です。範囲は、その学期行ったすべての内容となりますので、1時間1時間の授業を大切にしてください。

最後に、表現の力をつけるためには、日頃の過ごし方も大切です。社会の動静に関心を持ち、新聞を読んだり友人と話題にして話し合ったりしてみてください。また書物にも積極的に親しんで欲しいと思います。

令和8年度 言語活用科「中国の言語文化Ⅰ」シラバス

普通科

単位数	2 単 位	年 次	3 年 次	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択者
教科書	はじめての中国語 すくすく (朝日出版社)			副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>1. 中国語の基礎的な発音を学び、正しい発音を身に付け、ピンインを正しく発音することができる。</p> <p>2. 基本的な日常会話のあいさつや自己紹介をできる。</p>
--

2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「中国語」ってなあに？	中国語概説	中華人民共和国について知る 1 「民族と言語」 2 「中国語」と「普通話」 発音記号であるピンインの理解 中国語のアクセント記号＝声調 第一声、第二声、第三声、第四声、轻声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物 (宿題も含む)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
5	あいさつ 発音 A. 声調と母音	あいさつ 声調 アクセント 単母音 二重母音 三重母音 3声の変調	a, o, i, u, ü, er ao, ei, ao, ou, ia, ie, ua, uo, ue iao, iou, uai, uei 3声+3声→2声+3声	並行して、簡単なフレーズを練習
		<b>第1学期中間考査</b>	<b>授業時間内実施</b>	
6	B. 子音 C. 要注意の点	轻声 鼻母音 -nと-ng 無気音と有気音の区別 舌面音とそり舌音 “不”と“一”の声調変化	mā ma / yé ye an, ang / en, eng nとngの区別 b, p, m, f, d, t, n, l, g, k, h, z, c, s, j, q, x zh, ch, sh, r と er, y, w	並行して、簡単なフレーズを練習
7	第1課 你好！ (こんにちは)	あいさつと自己紹介	名前の聞き方・答え方 Nǐ jiào shén me míng zì ? Wǒ jiào A lóng.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物 (宿題も含む)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
		<b>第1学期期末考査</b>	<b>考査期間内実施</b>	
9	第2課 你是日本人吗？ (あなたは日本人ですか)	肯定文と否定文 疑問詞 ～か、どこ 「ある、いる」と「ない、いない」	是 shì (～だ)、不是 bù shì (～ではない) ～吗 ma (～ですか) 哪 nǎ (どこ) 「有」 yǒu と 「没有」 méi yǒu	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物 (宿題も含む)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
10	第3課 你家里几口人？ (あなたは何人家族ですか)	疑問詞 いくつ 数字 家族の紹介	「几」 jǐ 1～10まで Bàba, mama, wǒ, gēge, jiějie, mèi mei, dì, dì	
		<b>第2学期中間考査</b>	<b>授業時間内実施</b>	
11	第4課 这是什么？ (これは何ですか)	疑問詞 ～は何ですか ～は誰ですか	～是什么？ shì shén me ? ～是谁？ shì shéi ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物 (宿題も含む)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
12	第5課 你今年多大？ (あなたは今年何歳ですか)	指示語 年齢の聞き方 年の表現	这 zhè (これ), 那 nà (あれ) 相手が年長者か年少者か 前年 qián nián (おとし) 明年 míng nián (来年)	
12		10以上の数の数え方		
		<b>第2学期期末考査</b>	<b>考査期間内実施</b>	

1	総復習	4月からの復習	中国語による簡単なスピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・ペアワーク</li> <li>・提出物 (宿題も含む)</li> <li>・小テスト</li> <li>・発表</li> </ul>
1		<b>学年末考査</b>	<b>考査期間内実施</b>	

### 3 評価の観点

知識・技能	中国語の基本的な発音と文法構造を理解しているか。 言語の背景にある文化などを理解しているか。
思考・判断・表現	中国語を聞いたり読んだりして得た情報で、話したり書いたりして考えなどを相手に伝えているか。 中国語を聞いたり読んだりして得た知識や技能を使って自分の考えなどを表現しようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	間違いを恐れず、積極的に授業に参加し、自発的に応答したり、質問したりしているか。 真摯な態度で授業に取り組んでいるか。

### 4 評価の方法

定期考査、小テスト、授業中の参加態度、出席状況、提出物の期限が守られているか、発表などをもとに、3観点から評価規準に従い総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>この授業では、中国語を習得するためにまず発音の学習に多くの時間を割きます。また、中国語特有の発音や語順を身につける必要があります。授業で習った内容はきちんと復習しましょう。</p> <p>皆さんはこれまで「漢文」という「中国の古典」を学習してきました。これからはそれを「中国語」＝「外国語」という観点から学習します。</p> <p>日本の文化に大きな影響を与えた中国語・中国文化を、中国語を通して学習しましょう。</p>
---

令和8年度 言語活用科 「 スペインの言語文化Ⅰ 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年1～7組 選択者
教科書	聴ける！読める！書ける！話せる！ スペイン語 初歩の初歩 音声DL版（高橋書店）	副教材等	

1 学習の到達目標

スペイン語の音声や表現、およびその背景にある文化に対する理解を深めるとともに、日常的な話題についてカタコトでもスペイン語できれば、地元の人とコミュニケーションをとる力を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	スペイン語の基本ルール	スペイン語の読み方を覚えてあいさつをする	アルファベット、数をあらわす、あいさつ、会話、発音 あいさつ、会話、発音	授業内の取り組み パフォーマンステスト
	5		名前や出身地について話をする	スペルおよび文法 発音の練習、スピーキングテスト	課題
			動詞を使って毎日の生活の話をする 授業内考査	動詞、場所を表す言葉 会話、作文、文法テスト	読解、語彙や文法等
	6	通じればOKカタコトフレーズ	簡単なフレーズ	出会いのあいさつ 別れのあいさつ	授業内の取り組み パフォーマンステスト
	7		ひとこと質問表現	いろいろと尋ねる	課題
			ひとこと感嘆表現 授業内考査	驚き／喜びを表す 会話、文法テスト	読解、語彙や文法等
	第2学期	9	マスターしたい基本フレーズ	動詞を使って毎日の生活の話をする	ser, estar, haber, ir, tener, querer, etc. 聴解、授業中の作文
10		疑問		donde, que, quien, como.	課題
			授業内考査		読解、語彙や文法等

第2学期	11	旅で使える場面 フレーズ	交通	動詞、会話	授業内の取り組み  パフォーマンステスト  課題
	12		宿泊	新しい語彙、文化	
			観光	動詞、体で覚えるゲーム	
	宿泊		道順や料理の作り方を教え合う		
			道順や料理の作り方を教え合う	文法、作文テスト	
			授業内考査		読解、語彙や文法等
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	旅で使える場面 フレーズ	食事	バル・カフェでの会話	授業内の取り組み  パフォーマンステスト  課題
	2		病気のトラブル	レストランでの会話	
				病院・薬局での会話	
3		授業内考査		読解、語彙や文法等	

### 3 評価の観点

知識・技能	学習した語彙、文型や文化的な内容を理解し、積極的に使おうとしているか。
思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたことの内容を理解し、自分の考えを適切な表現で伝えることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業に前向きに取り組む努力を続けているか。積極的にスペイン語を使ってコミュニケーションを取ろうとしているか。

### 4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

スペイン語を学ぶことによって21カ国の文化、伝統、スポーツ、音楽、ダンス、政治、芸術、暮らし、食事、文化を知ることができます。楽しくスペイン語を学びましょう。